

リユース業者の環境意識高度化事業 大口排出事業者へのアンケート調査結果

<目次>

1. 大口排出事業者に対するアンケート調査の概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査対象	1
1.3 調査期間・スケジュール	2
1.4 主な調査項目	2
2. 大口排出事業者に対するアンケート調査結果	4
2.1 リース・レンタル業の結果の概要	4
2.2 引越業	12
2.3 ビル・賃貸マンション等の管理業	35

1. 大口排出事業者に対するアンケート調査の概要

1.1 調査目的

使用済製品の大口排出者となりうる事業者に対して、リユース業界・事業者への要望や連携時に求める要件などを整理することを目的として、アンケート調査を実施した。

大口排出者として①リース・レンタル業、②引越業、③ビル管理業の3業種を対象とした。

1.2 調査対象

アンケート発送先は、インターネット検索を基に、3業種の事業者を抽出した。

発送数は、①リース・レンタル業（468件）、②引越業（472件）、③ビル管理業（450件）の合計1,390件、うち廃業や住所変更で不達となり無効となったものが12件であった。

回収数は①リース・レンタル業（138件）、②引越業（73件）、③ビル管理業（145件）、回収率は、①リース・レンタル業（29.8%）、②引越業（15.7%）、③ビル管理業（32.2%）であった。

図表 1 大口排出者向けのアンケートの回答状況

	発送数 (A)	無効 (B)	有効発送数 (C) (=A-B)	回収数 (D)	回収率 (E) (=D/C)
①リース・レンタル業	468	5	463	138	29.8%
②引越業	472	7	465	73	15.7%
③ビル管理業	450	0	450	145	32.2%

1.3 調査期間・スケジュール

調査は10月～11月にかけて実施した。郵送にて調査票を配布し、調査票に回答を記入後、返信用封筒に同封の上、返送を依頼した。なお、締切後に返信のあった回答も集計に加えている。

図表 2 大口排出者向けのアンケートの調査期間

	発送日	締切
①リース・レンタル業	10/18	11/2
②引越業	10/18	11/2
③ビル管理業	11/4	11/18

1.4 主な調査項目

(1) リース・レンタル業

リース・レンタル業向けアンケートでは、主に、以下の点を明らかにするために調査を実施した。

- ・リースアップ、レンタルバックでの不用品の発生状況
- ・廃棄処理しているもののリユース可能性
- ・リユース業との連携の可能性、重視する条件、連携しない理由
- ・リユース業界での取組に関する意見・評価

図表 3 具体的な設問例（リース・レンタル業）

<ul style="list-style-type: none">・取扱品目・サービスの概要・不用品の取扱状況、引渡先（リユース業への引渡状況等の確認）・廃棄処理している理由（廃棄処理しているもののリユース可能性）・中古品として流通しない理由・リユース業との連携の関心、連携時に重視する条件・リユース業界の取組への意見・リユース業界への意見（自由回答）

(2) 引越業

引越業向けアンケートにおいては、主に以下の点を明らかにするために調査を実施した。

- ・引越事業での不用品の発生状況
- ・廃棄処理しているもののリユース可能性
- ・リユース業との連携の可能性、重視する条件、連携しない理由
- ・リユース業界での取組に関する意見・評価

図表 4 具体的な設問例（引越業）

<ul style="list-style-type: none">・引越業務での不用品の発生状況・不用品の取扱状況、引渡先（引取の可否、リユース業への引渡状況等の確認）・品目別の取扱状況（品目別の取扱状況）・廃棄処理している理由（廃棄処理しているもののリユース可能性）・中古品として流通しない理由・リユース業との連携の関心、連携時に重視する条件・リユース業界の取組への意見・リユース業界への意見（自由回答）

(3) ビル管理業

ビル管理業向けアンケートにおいては、主に以下の点を明らかにするために調査を実施した。

- ・管理業務において不用品の処理・処分状況（借主・賃借人からの依頼の有無）
- ・廃棄処理しているもののリユース可能性
- ・リユース業との連携の可能性、重視する条件、連携しない理由
- ・リユース業界での取組に関する意見・評価

図表 5 具体的な設問例（ビル管理業）

<ul style="list-style-type: none">・不用品の処理・処分の有無（借主・賃借人からの依頼状況）・不用品の引渡先（リユース業への引渡状況等の確認）・廃棄処理している理由（廃棄処理しているもののリユース可能性）・リユース業との連携の関心、連携時に重視する条件・リユース業界の取組への意見・リユース業界への意見（自由回答）
--

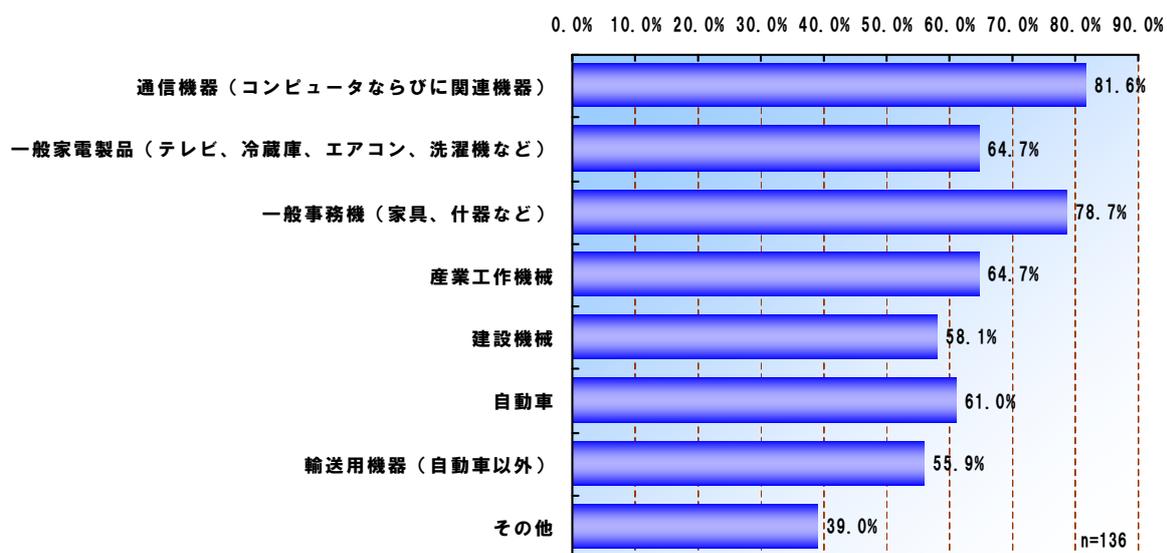
2. 大口排出事業者に対するアンケート調査結果

2.1 リース・レンタル業の結果の概要

(1) 取扱品目について

取扱品目（複数回答可）は、「通信機器（コンピュータならびに関連機器）」との回答が最も多く 81.6%（111 件）、次いで「一般事務機（家具、什器など）」との回答が 78.7%（107 件）、「一般家電製品（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）」と「産業工作機械」との回答が同数で 64.7%（88 件）と続く。

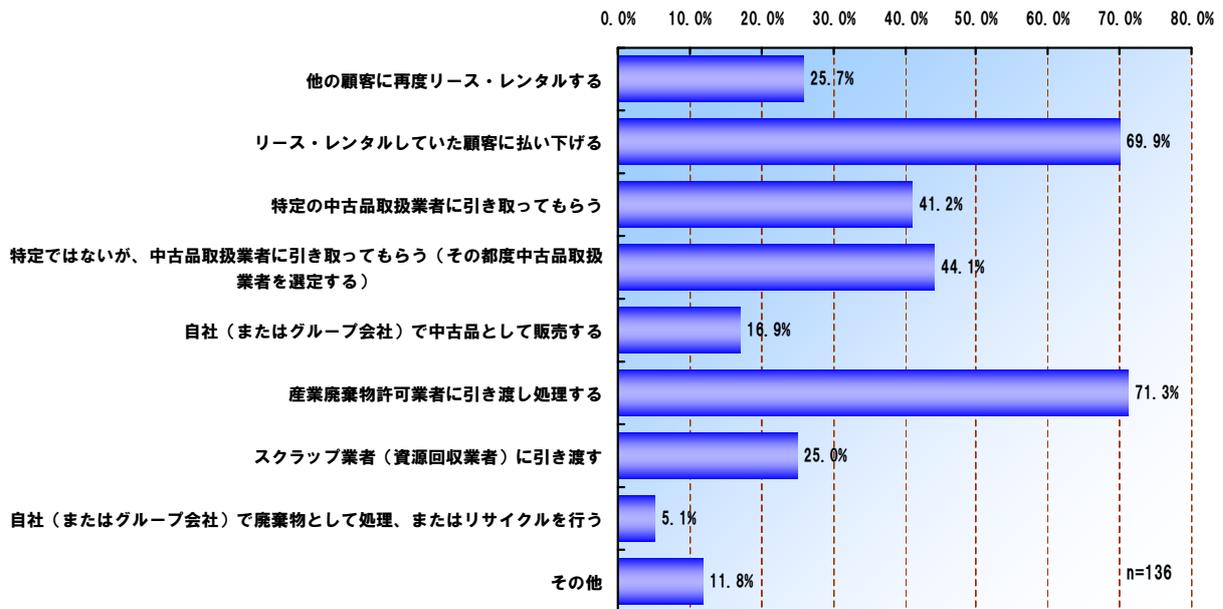
図表 6 取扱品目について



(2) 契約期間終了後のリースアップ品・レンタルバック品の取扱について

契約終了後のリースアップ品・レンタルバック品の取扱（複数回答可）について、「産業廃棄物許可業者に引き渡し処理する」との回答が最も多く 71.3%（97 件）、次いで「リース・レンタルしていた顧客に払い下げる」との回答が 69.9%（95 件）、「特定ではないが、中古品取扱業者に引き取ってもらう（その都度中古品取扱業者を選定する）」との回答が 44.1%（60 件）と続く。

図表 7 契約期間終了後のリースアップ品・レンタルバック品の取扱について

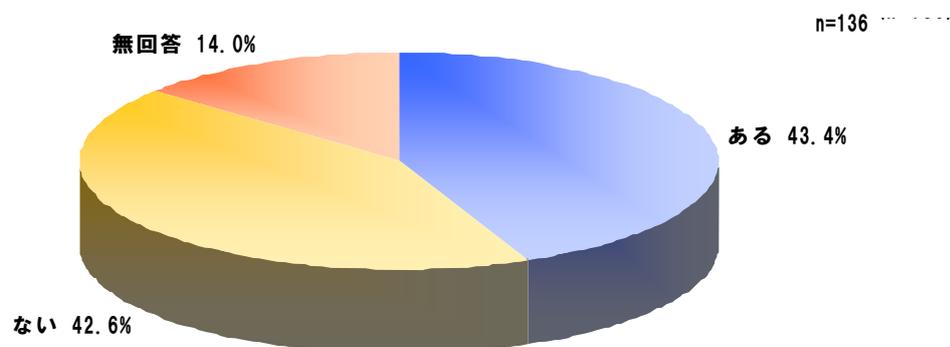


(3) 現在、リサイクル・廃棄されている製品のうち中古品利用が可能と思われるもの

1) 中古品として利用できるものの有無（製品全体）

取り扱っている製品（全体）については、「ある」との回答が 43.4%（59 件）、「ない」との回答が 42.6%（58 件）である。

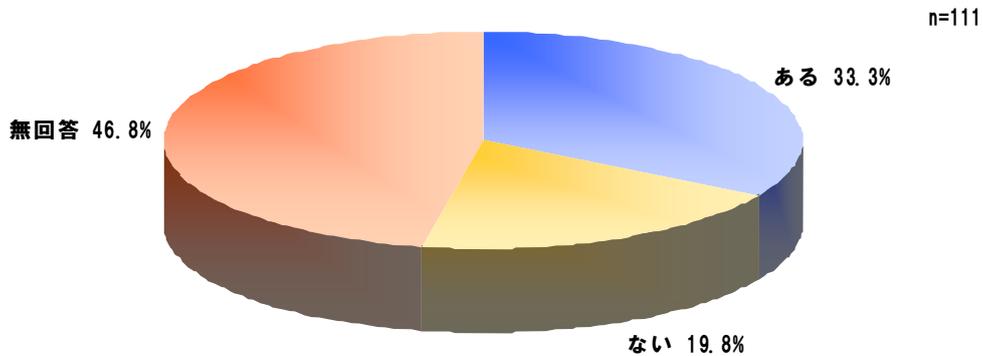
図表 8 取り扱っている製品（全体）（中古品として利用できるものの有無）



2) 中古品として利用できるものの有無（通信機器（コンピュータならびに関連機器））

通信機器（コンピュータならびに関連機器）については、「ある」との回答が 33.3%（37 件）、「ない」との回答が 19.8%（22 件）である。

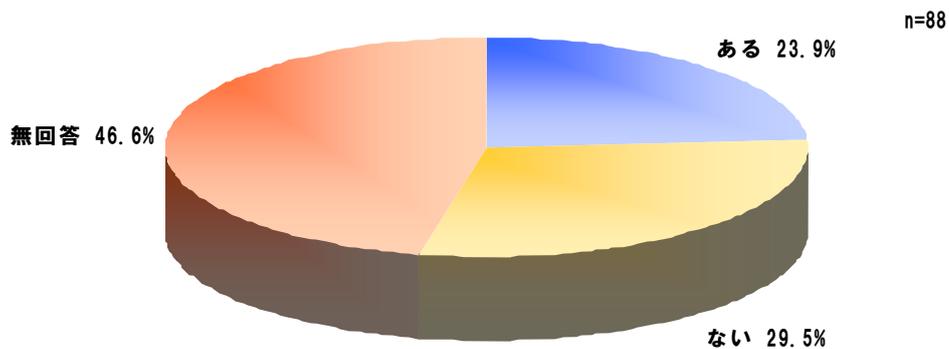
図表 9 通信機器（コンピュータならびに関連機器）（中古品として利用できるものの有無）



3) 中古品として利用できるものの有無（一般家電製品（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など））

一般家電製品（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）については、「ない」との回答が 29.5%（26 件）、「ある」との回答が 23.9%（21 件）である。

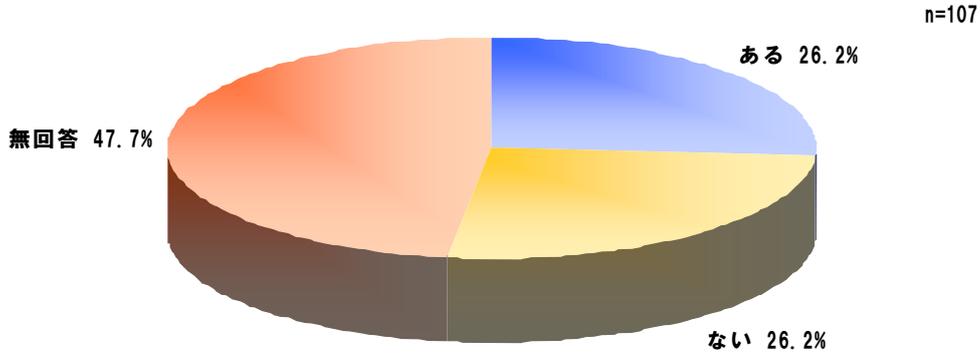
図表 10 一般家電製品（テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機など）
（中古品として利用できるものの有無）



4) 中古品として利用できるものの有無（一般事務機（家具、什器など））

一般事務機（家具、什器など）については、「ある」と「ない」との回答が同数で26.2%（28件）である。

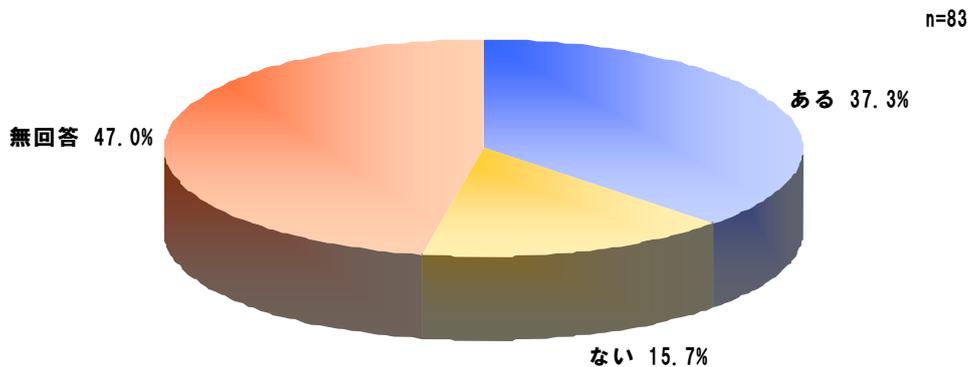
図表 11 一般事務機（家具、什器など）（中古品として利用できるものの有無）



5) 中古品として利用できるものの有無（自動車）

自動車（中古品として利用できるものの有無）については、「ある」との回答が37.3%（31件）、「ない」との回答が15.7%（13件）である。

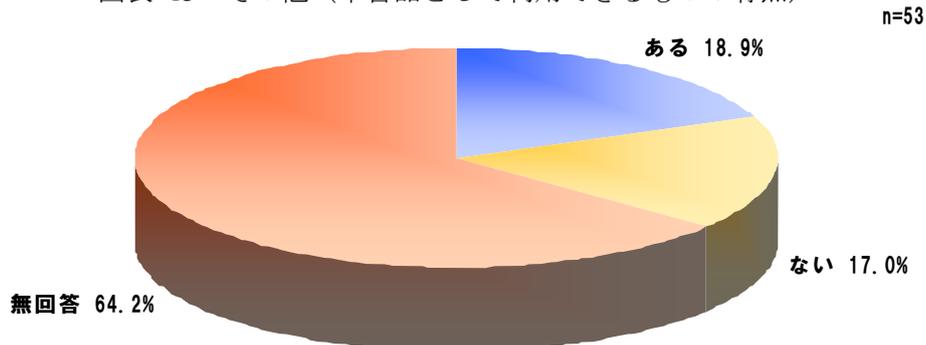
図表 12 自動車（中古品として利用できるものの有無）



6) 中古品として利用できるものの有無（その他）

その他（中古品として利用できるものの有無）については、「ある」との回答が18.9%（10件）、「ない」との回答が17.0%（9件）である。

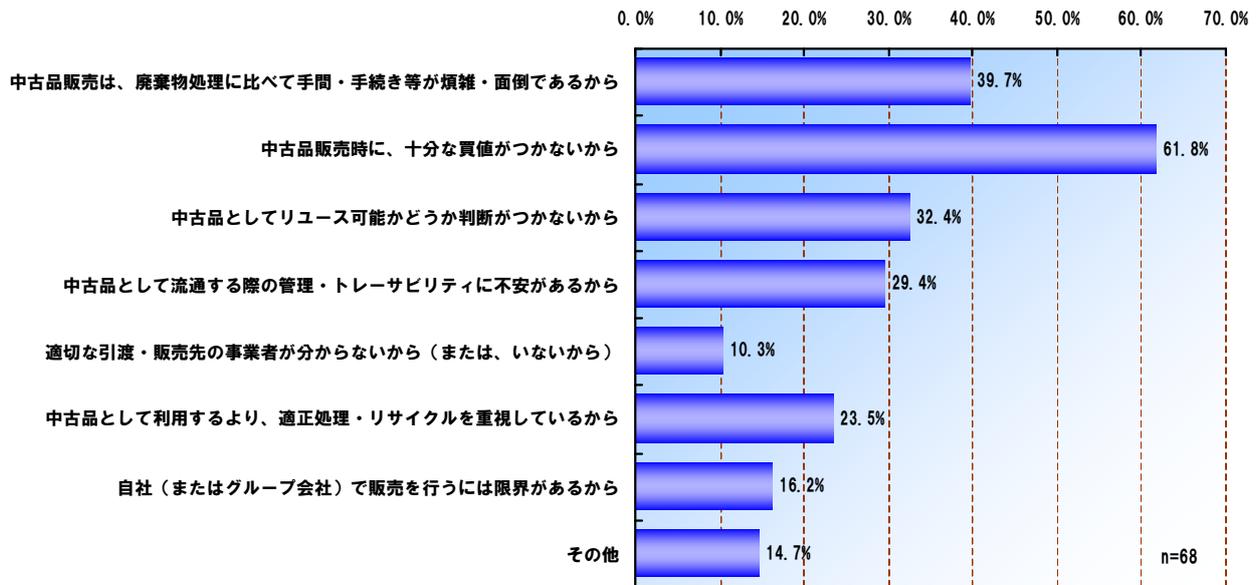
図表 13 その他（中古品として利用できるものの有無）



(4) 中古品として流通していない理由について

中古品として流通していない理由（複数回答可）について、「中古品販売時に、十分な買値が見つからないから」との回答が最も多く 61.8%（42 件）、次いで「中古品販売は、廃棄物処理に比べて手間・手続き等が煩雑・面倒であるから」との回答が 39.7%（27 件）、「中古品としてリユース可能かどうか判断が見つからないから」との回答が 32.4%（22 件）と続く。

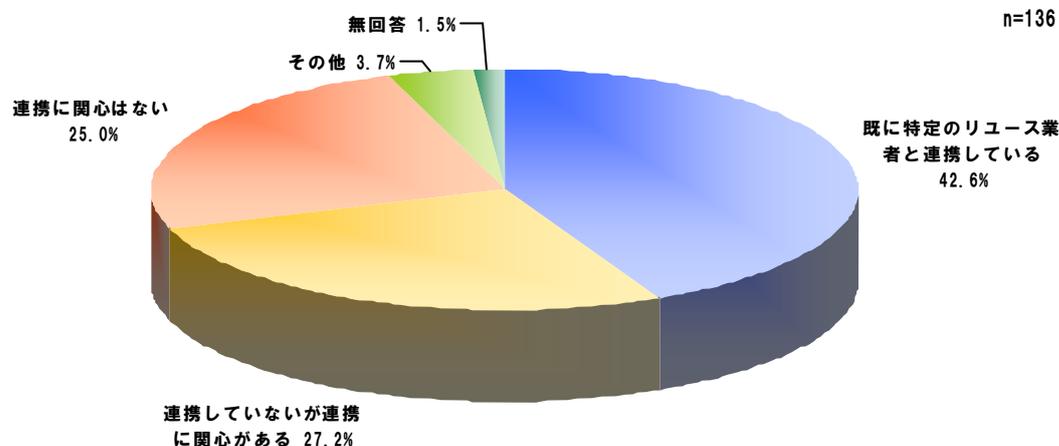
図表 14 中古として流通していない理由について



(5) 特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について

特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について、「既に特定のリユース業者と連携している」との回答が最も多く 42.6%（58 件）、次いで「連携していないが連携に関心がある」との回答が 27.2%（37 件）、「連携に関心はない」との回答が 25.0%（34 件）であった。

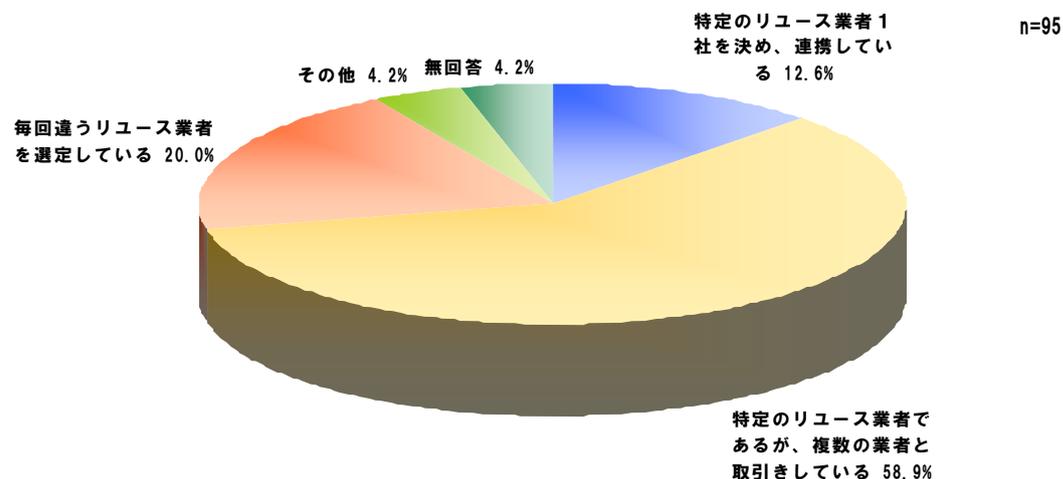
図表 15 特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について



(6) リユース業者との連携の方法について

リユース業者との連携の方法について、「特定のリユース業者であるが、複数の業者と取引している」との回答が最も多く 58.9% (56 件)、次いで「毎回違うリユース業者を選定している」との回答が 20.0% (19 件)、「特定のリユース業者 1 社を決め、連携している」との回答が 12.6% (12 件) であった。

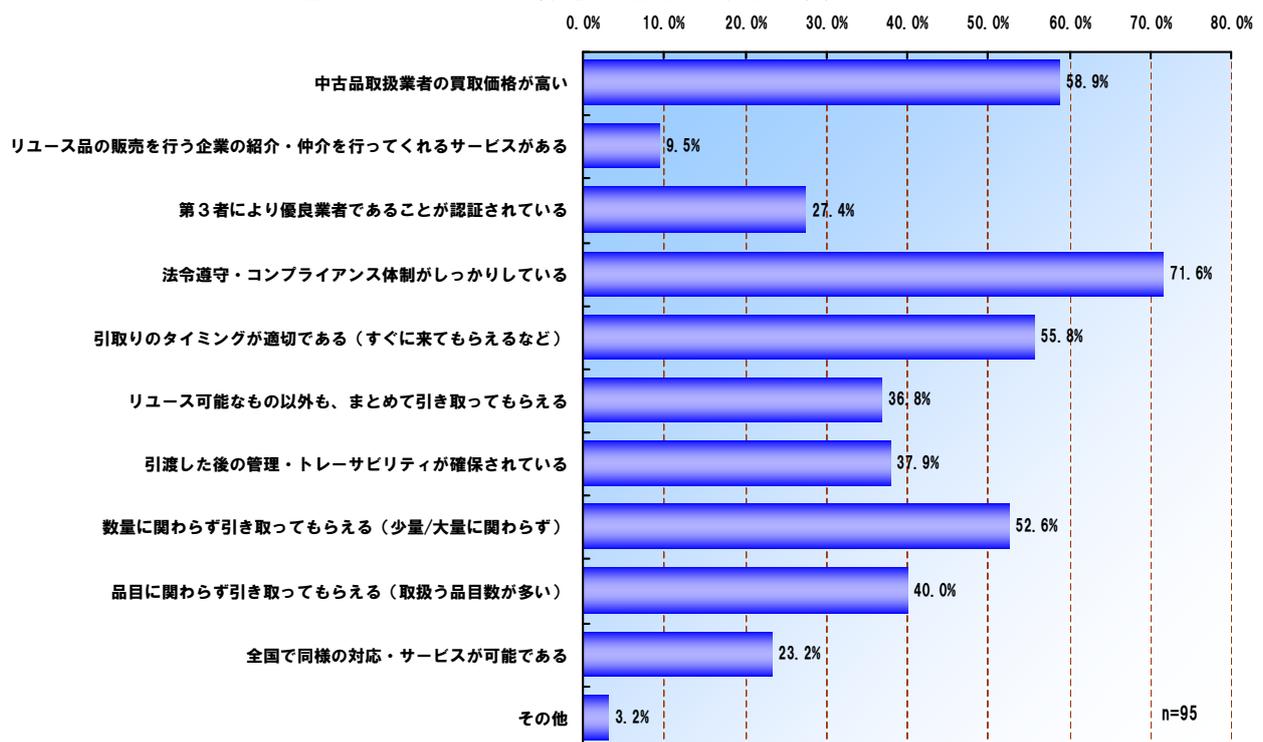
図表 16 リユース業者との連携の方法について



(7) リユース業者の選定の対応・条件について

リユース業者の選定の対応・条件（複数回答可）について、「法令遵守・コンプライアンス体制がしっかりしている」との回答が最も多く 71.6% (68 件)、次いで「中古品取扱業者の買取価格が高い」との回答が 58.9% (56 件)、「引取りのタイミングが適切である（すぐに来てもらえるなど）」との回答が 55.8% (53 件) と続く。

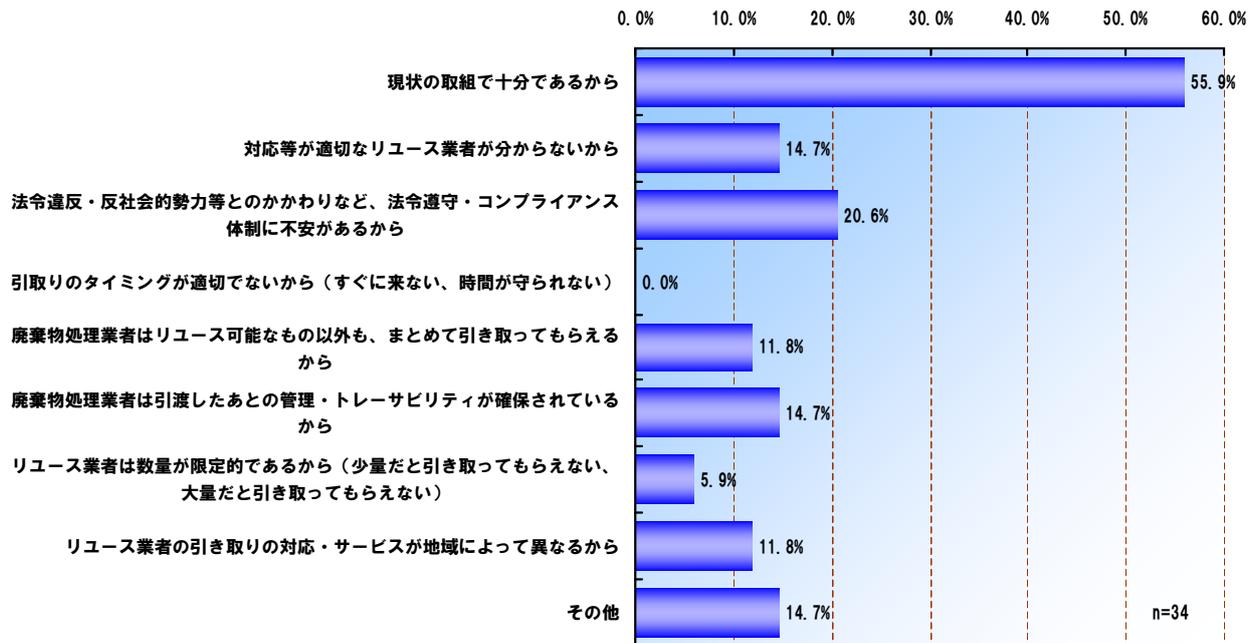
図表 17 リユース業者の選定の対応・条件について



(8) 連携に関心がない理由について

連携に関心がない理由（複数回答可）について、「現状の取組で十分である」との回答が最も多く 55.9%（19 件）、次いで「法令違反・反社会的勢力等のかかわりなど、法令遵守・コンプライアンス体制に不安があるから」との回答が 20.6%（7 件）、「対応等が適切なリユース業者が分からないから」と「廃棄物処理業者は引渡したあとの管理・トレーサビリティが確保されているから」との回答が同数で 14.7%（5 件）と続く。

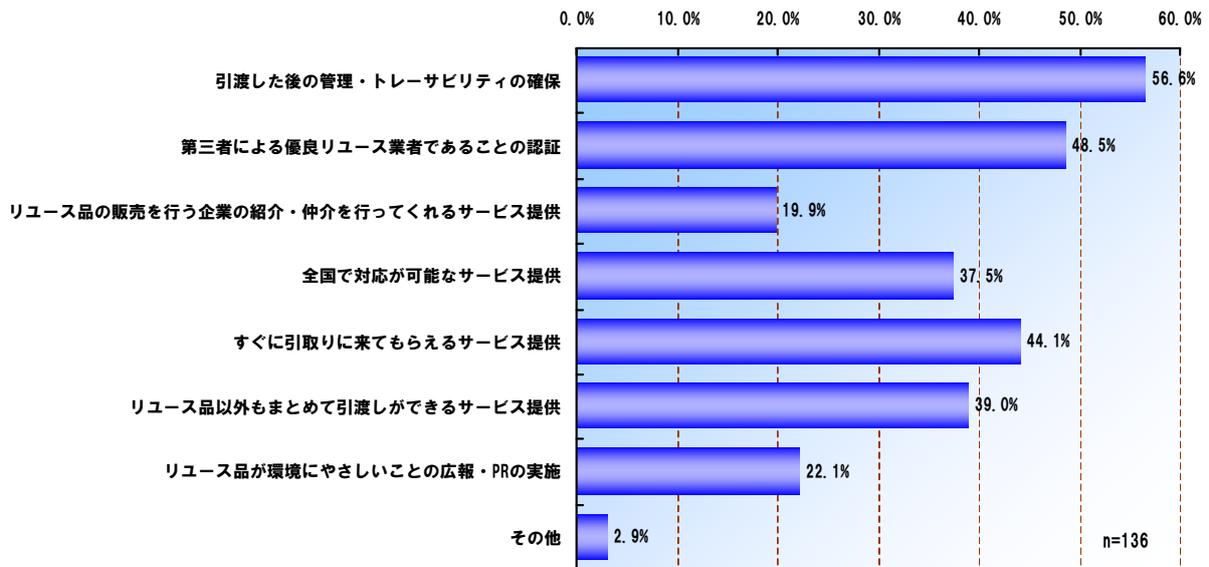
図表 18 連携に関心がない理由について



(9) リユース業界に推進して欲しいと思う取組について

推進して欲しいと思う取組（複数回答可）について、「引渡した後の管理・トレーサビリティの確保」との回答が最も多く 56.6%（77 件）、次いで「第三者による優良リユース業者であることの認証」との回答が 48.5%（66 件）、「すぐに引取りに来てもらえるサービス提供」との回答が 44.1%（60 件）と続く。

図表 19 推進して欲しいと思う取組について



(10) リユース業界に対する意見・要望など（自由回答）

<仕組み・工夫について>

- ・例えば、官・民が協力して中古パソコンを小中学校へ導入するしくみを作るなどリユース率を高める工夫・施策が必要と思われまます。

<買取基準について>

- ・リユース業界に対して、中古買取価格一覧表等のデータ還元を要望する。

<その他>

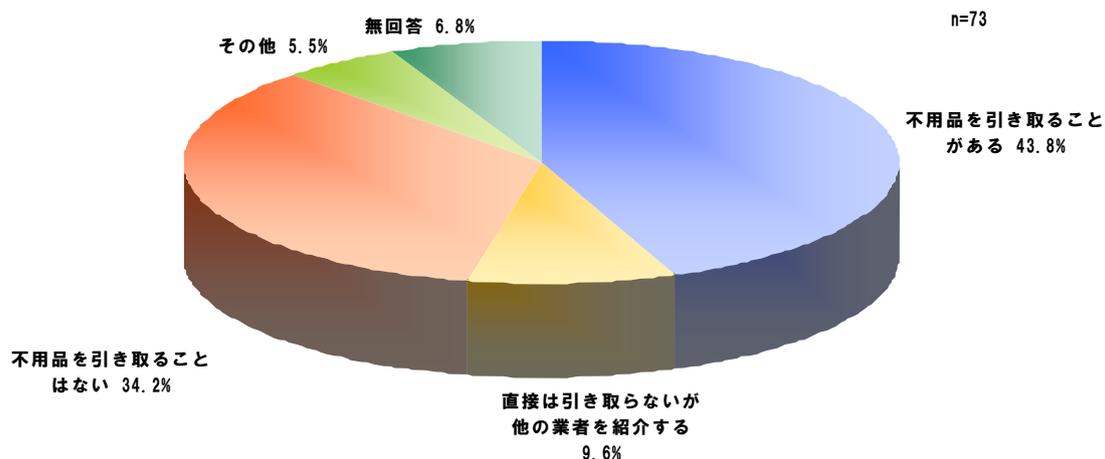
- ・どんどん推進して下さい。

2.2 引越業

(1) 引越時に発生する不用品の引取の有無について

引越時に発生する不用品の引取の有無について、「不用品を引き取ることがある」が最も多く 43.8% (32 件)、次いで「不用品を引き取らない」が 34.2% (25 件)、「直接は引き取らないが他の業者を紹介する」9.6% (7 件) と続く。

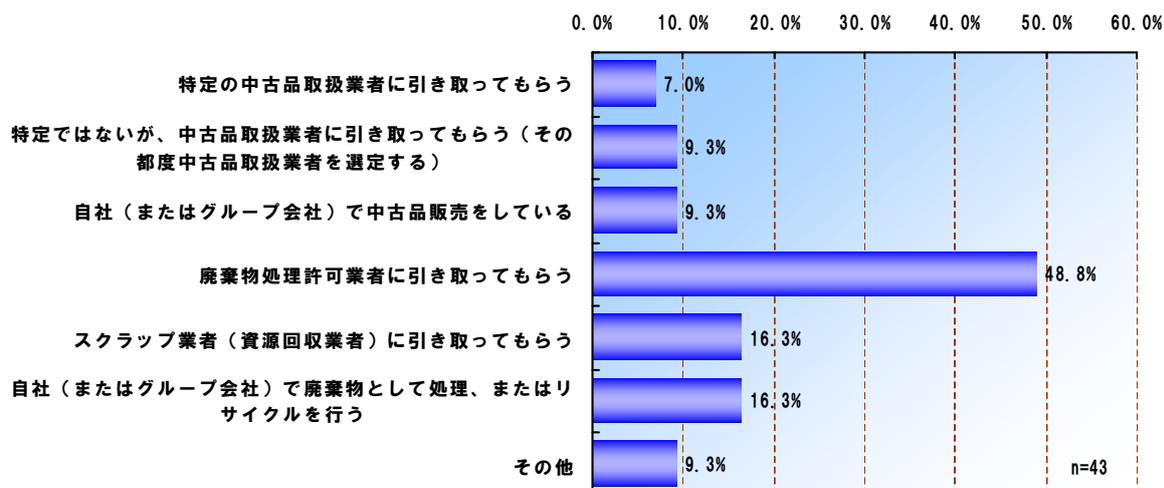
図表 20 引越時に発生する不用品の引取の有無について



(2) 引越時に発生する不用品の引取・処理について

引越時に発生する不用品の引取・処理（複数回答可）について、「廃棄物処理許可業者に引き取ってもらう」が最も多く 48.8% (21 件)、次いで、「スクラップ業者（資源回収業者）に引き取ってもらう」と「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が同数で 16.3% (7 件) と続く。

図表 21 引越時に発生する不用品の引取・処理について



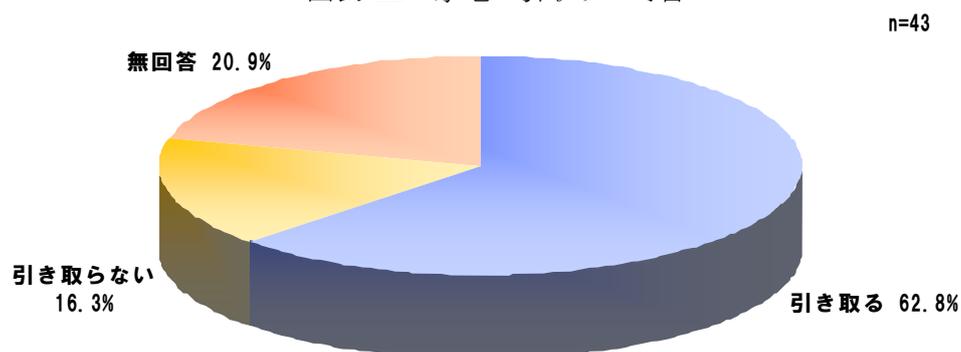
(3) 品目別の引取の可否・費用負担・処理方法

1) 家電製品

① 家電製品の引取の可否

家電の引取りの可否について、「引き取る」が62.8%（27件）と過半数を占めている。

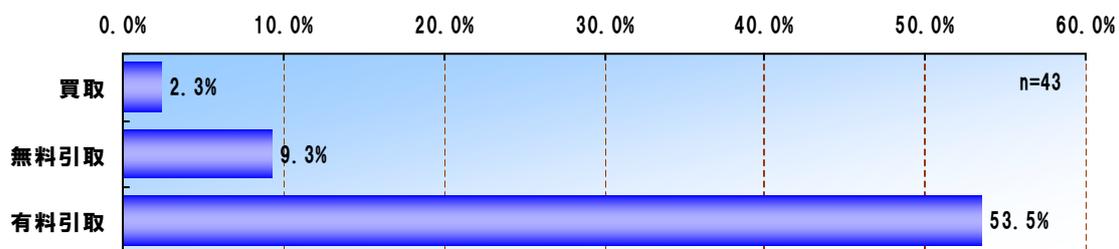
図表 22 家電の引取りの可否



② 家電製品の引取り時の費用

家電の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く53.5%（23件）、次いで「無料引取」が9.3%（4件）、「買取」2.3%（1件）と続く。

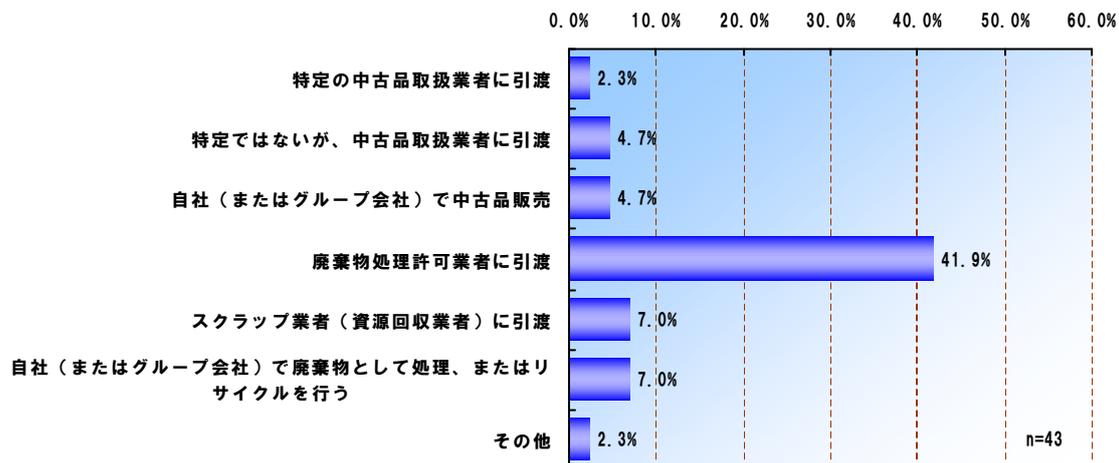
図表 23 家電の引取り時の費用



③ 家電製品の引取り後の処理

家電の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 41.9% (18 件)、次いで「スクラップ業者（資源回収業者）に引渡」と「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が同数で 7.0%（3 件）と続く。

図表 24 家電の引取り後の処理

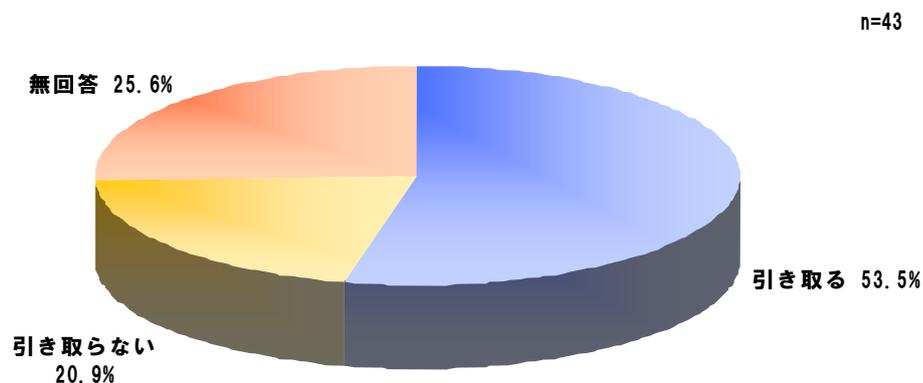


2) パソコン・周辺機器

① パソコン・周辺機器の引取りの可否

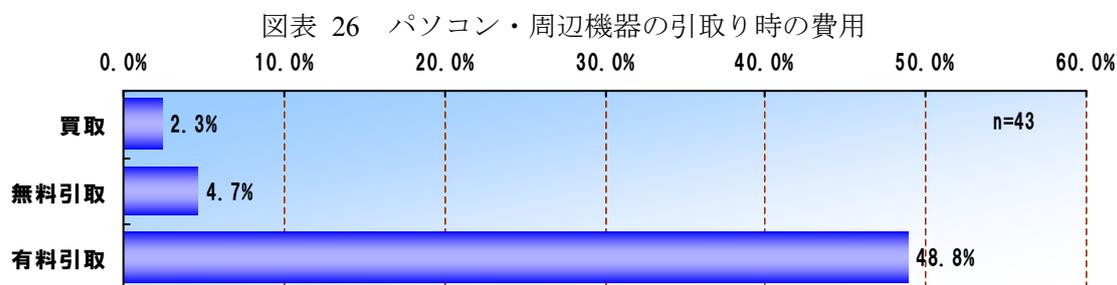
パソコン・周辺機器の引取りの可否について、「引き取る」が 53.5%（23 件）と過半数を占めている。

図表 25 パソコン・周辺機器の引取りの可否



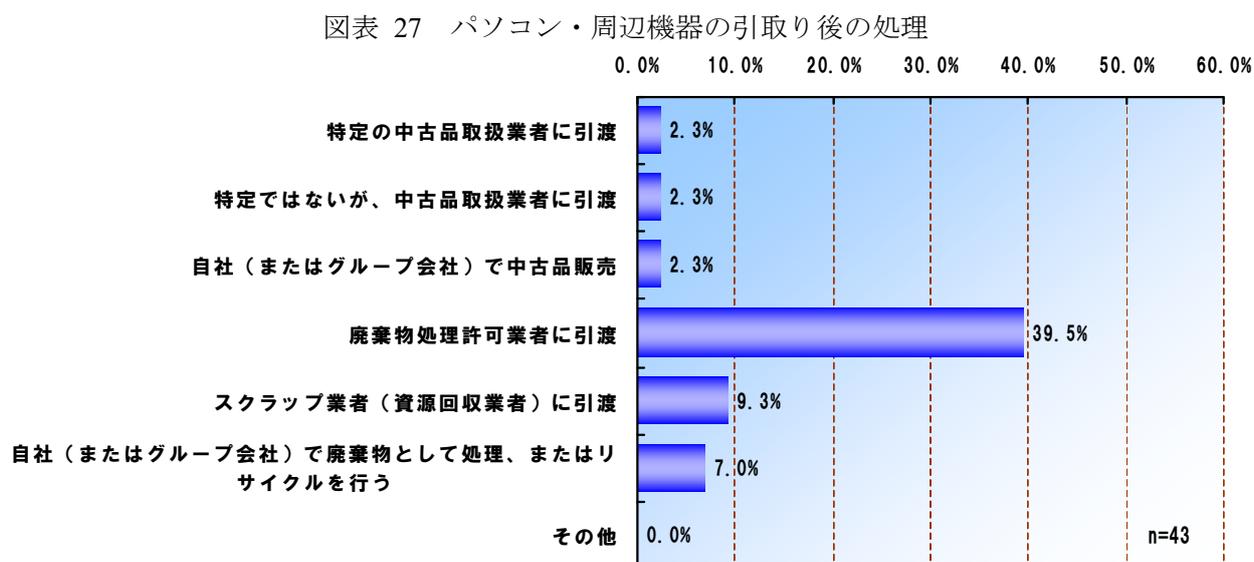
② パソコン・周辺機器の引取り時の費用

パソコン・周辺機器の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 48.8% (21 件)、次いで「無料引取」が 4.7% (2 件)、「買取」 2.3% (1 件) と続く。



③ パソコン・周辺機器の引取り後の処理

パソコン・周辺機器の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 39.5% (17 件)、次いで「スクラップ業者（資源回収業者）に引渡」が 9.3% (4 件)、「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」 7.0% (3 件) と続く。

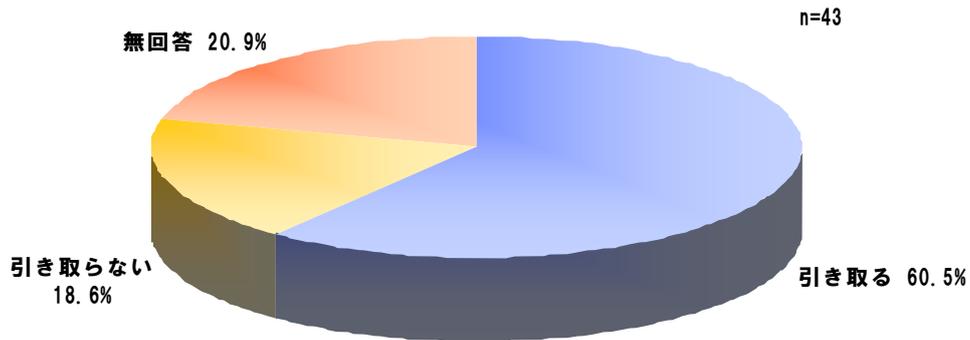


3) その他電化製品

① その他電化製品の引取りの可否

その他電化製品の引取りの可否について、「引き取る」が 60.5% (26 件) と過半数を占めている。

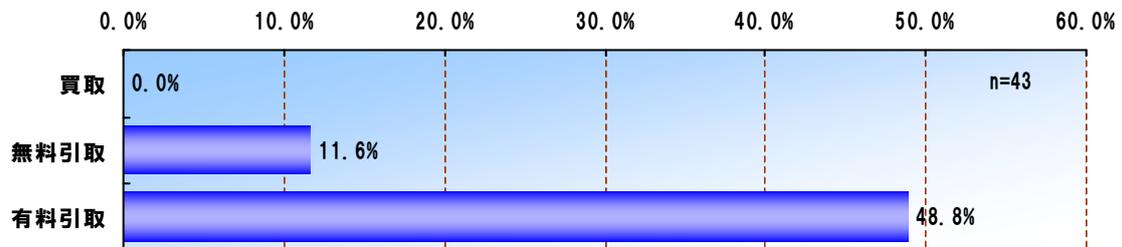
図表 28 その他電化製品の引取りの可否



② その他電化製品の引取り時の費用

その他電化製品の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 48.8% (21 件)、次いで「無料引取」が 11.6% (5 件) と続く。「買取」は 0.0% である。

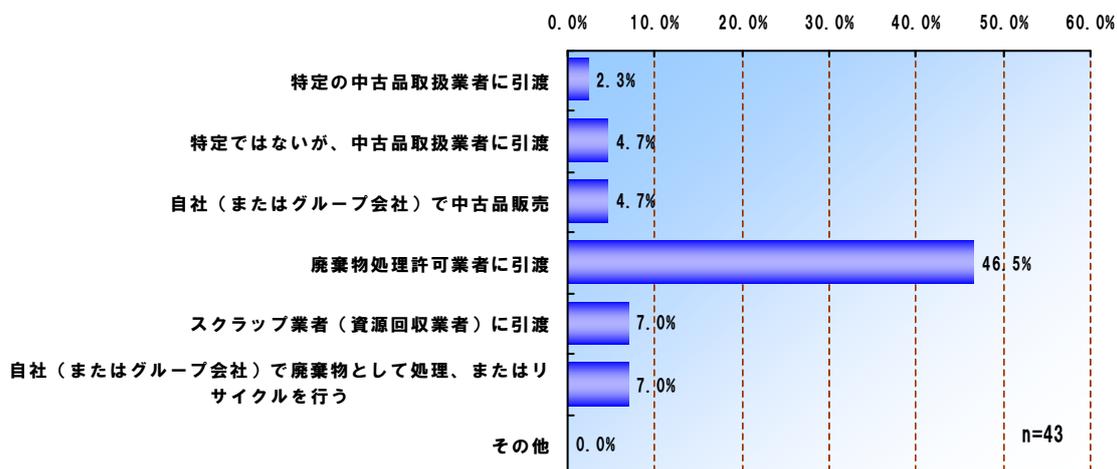
図表 29 その他電化製品の引取り時の費用



③ その他電化製品の引取り後の処理

その他電化製品の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く46.5%（20件）、次いで「スクラップ業者（資源回収業者）に引渡」と「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が同数で7.0%（3件）と続く。

図表 30 その他電化製品の引取り後の処理

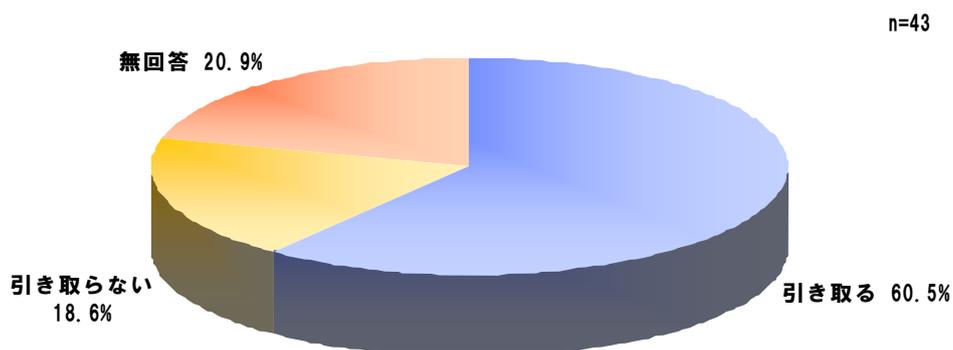


4) 衣類

① 衣類の引取りの可否

衣類の引取りの可否について、「引き取る」が60.5%（26件）と過半数を占めている。

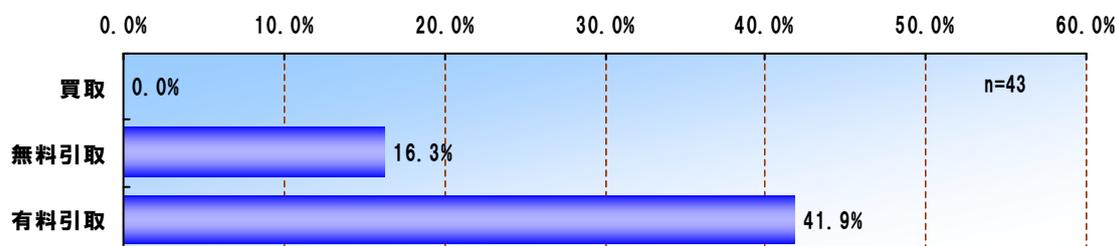
図表 31 衣類の引取りの可否



② 衣類の引取り時の費用

衣類の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 41.9%（18 件）、次いで「無料引取」が 16.3%（7 件）と続く。「買取」は 0.0%である。

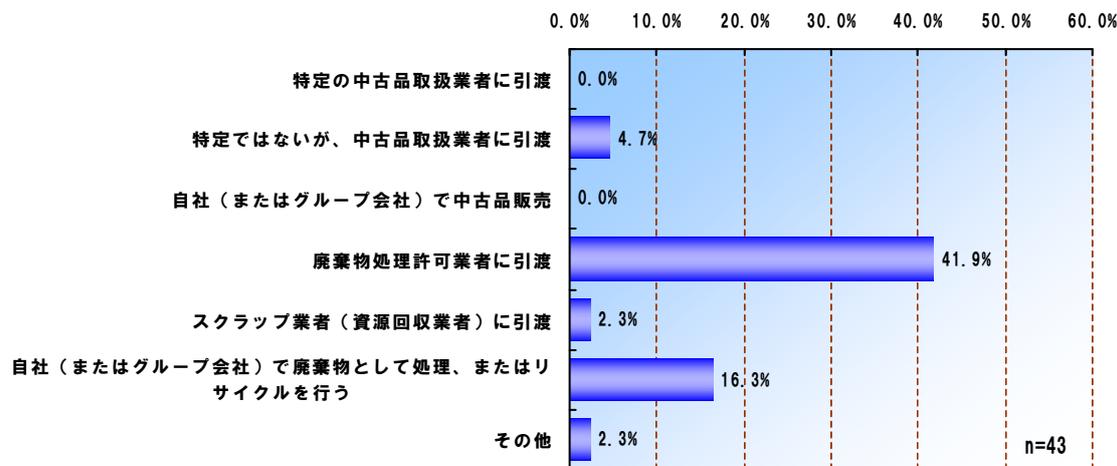
図表 32 衣類の引取り時の費用



③ 衣類の引取り後の処理

衣類の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 41.9%（18 件）、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 16.3%（7 件）、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」4.7%（2 件）と続く。

図表 33 衣類の引取り後の処理

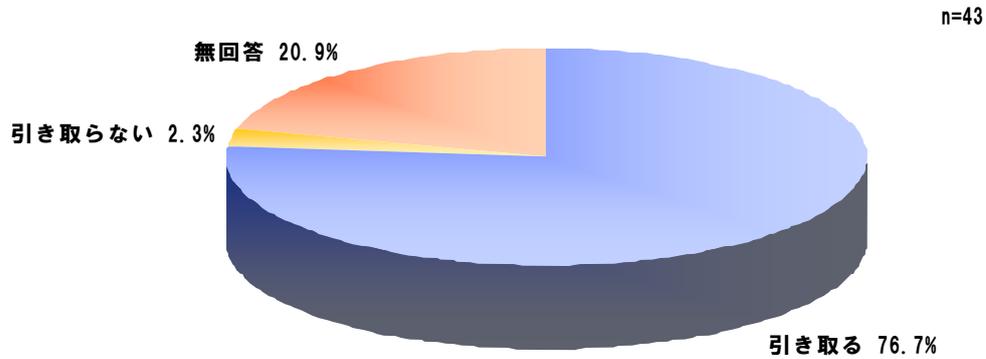


5) 家具類

① 家具類の引取りの可否

家具類の引取りの可否について、「引き取る」が76.7%（33件）と過半数を占めている。

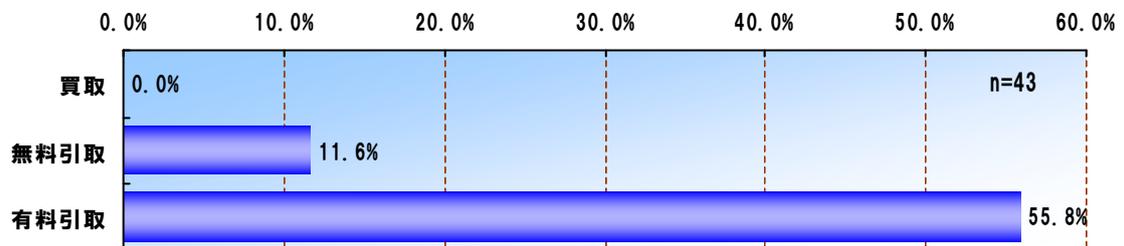
図表 34 家具類の引取りの可否



② 家具類の引取り時の費用

家具類の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く55.8%（24件）、次いで「無料引取」が11.6%（5件）と続く。「買取」は0.0%である。

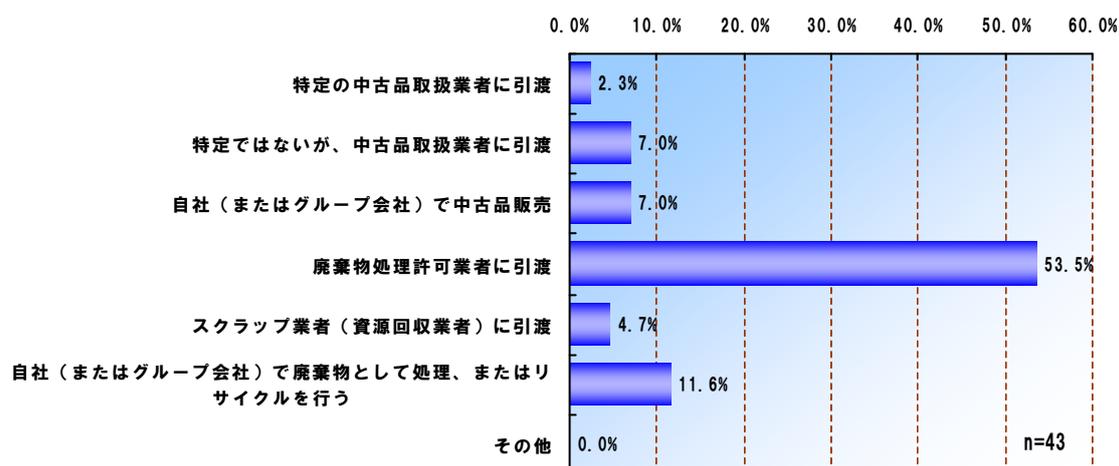
図表 35 家具類の引取り時の費用



③ 家具類の引取り後の処理

家具類の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 53.5% (23 件)、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 11.6% (5 件)、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」と「自社（またはグループ会社）で中古品販売」が同数で 7.0% (3 件) と続く。

図表 36 家具類の引取り後の処理

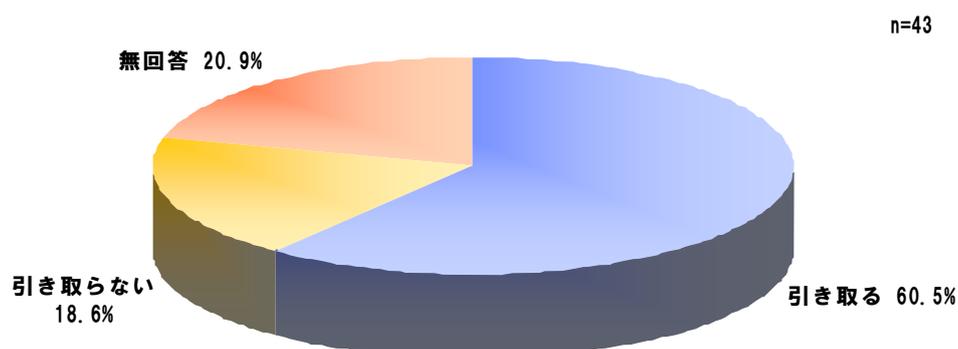


6) 生活雑貨

① 生活雑貨の引取りの可否

生活雑貨の引取りの可否について、「引き取る」が 60.5% (26 件) と過半数を占めている。

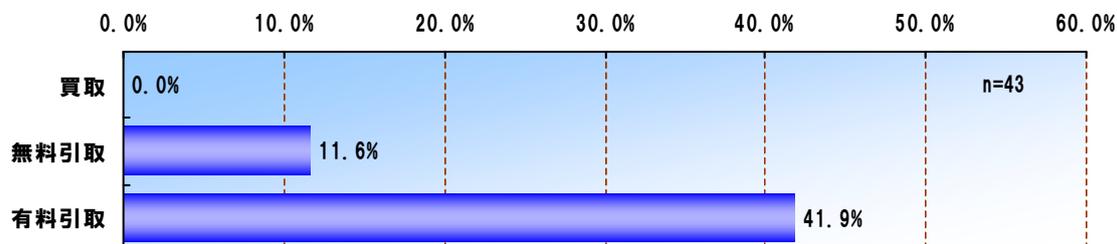
図表 37 生活雑貨の引取りの可否



② 生活雑貨の引取り時の費用

生活雑貨の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 41.9%（18 件）、次いで「無料引取」が 11.6%（5 件）と続く。「買取」は 0.0%である。

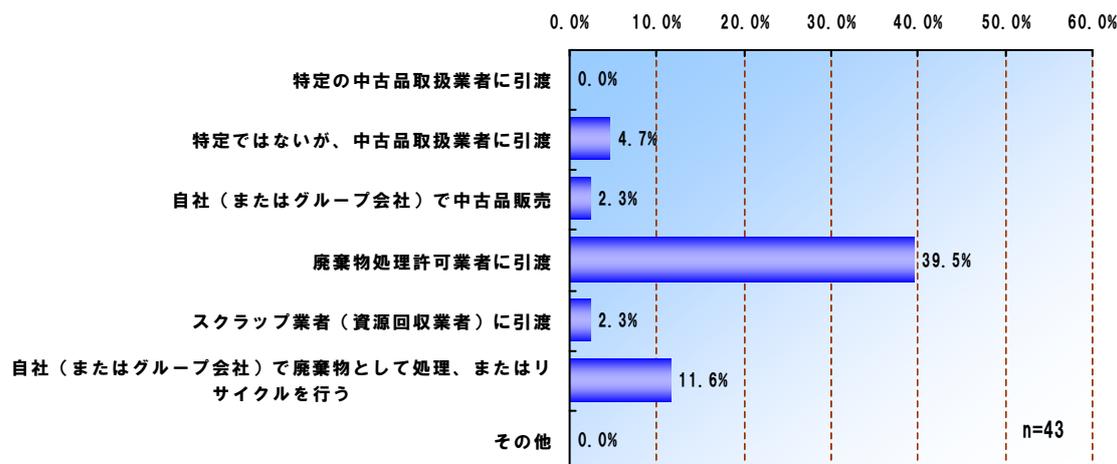
図表 38 生活雑貨の引取り時の費用



③ 生活雑貨の引取り後の処理

生活雑貨の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 39.5%（17 件）、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 11.6%（5 件）、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」4.7%（2 件）と続く。

図表 39 生活雑貨の引取り後の処理

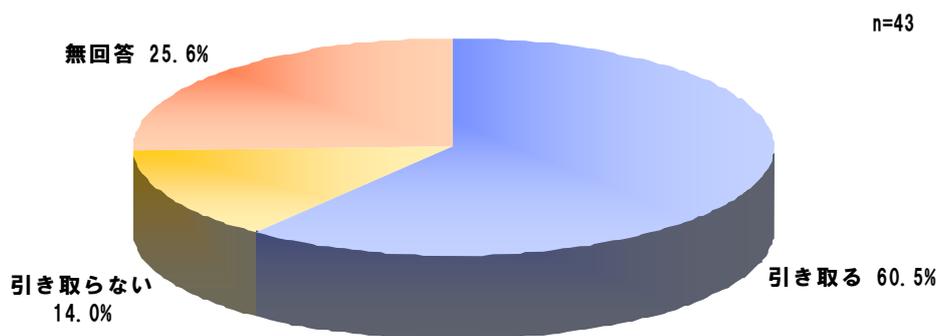


7) スポーツ用品

① スポーツ用品の引取りの可否

スポーツ用品の引取りの可否について、「引き取る」が 60.5% (26 件) と過半数を占めている。

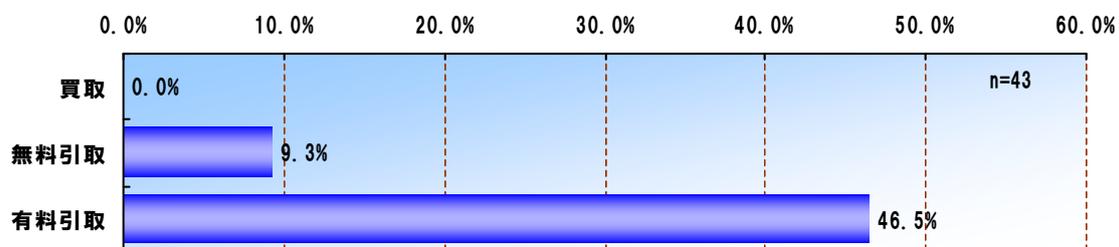
図表 40 スポーツ用品の引取りの可否



② スポーツ用品の引取り時の費用

スポーツ用品の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 46.5% (20 件)、次いで「無料引取」が 9.3% (4 件) と続く。「買取」は 0.0% である。

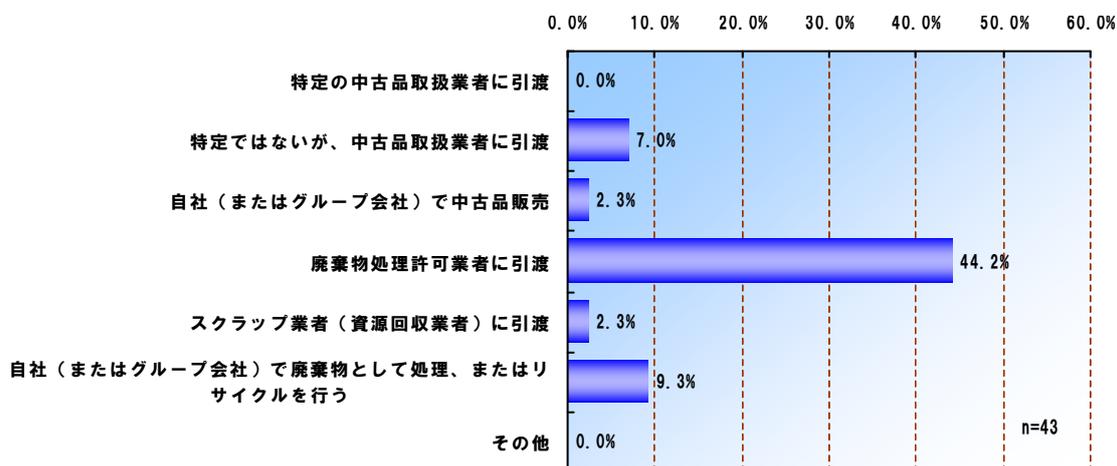
図表 41 スポーツ用品の引取り時の費用



③ スポーツ用品の引取り後の処理

スポーツ用品の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 44.2% (19 件)、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 9.3% (4 件)、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」7.0% (3 件) と続く。

図表 42 スポーツ用品の引取り後の処理

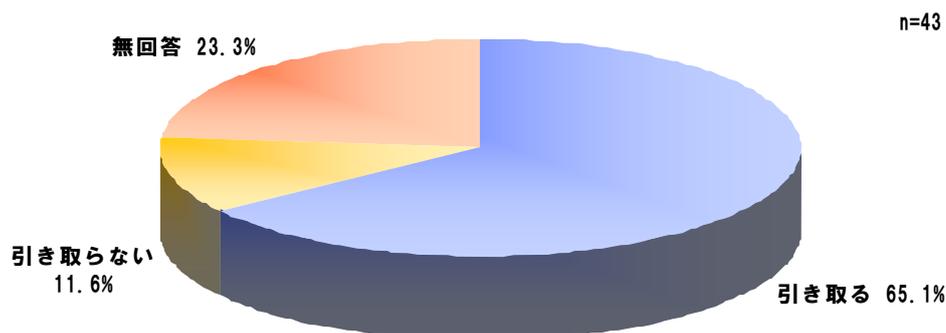


8) 古本

① 古本の引取りの可否

古本の引取りの可否について、「引き取る」が 65.1% (28 件) と過半数を占めている。

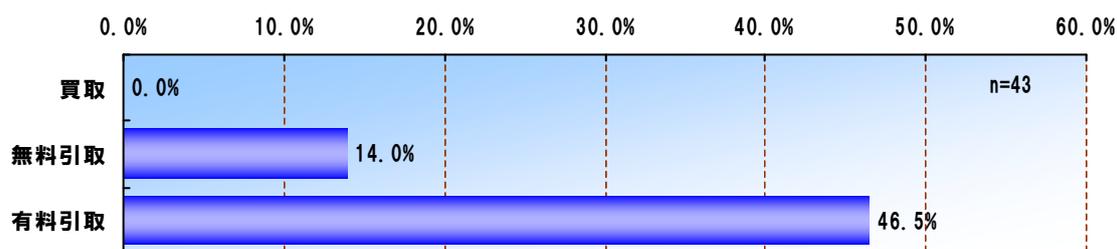
図表 43 古本の引取りの可否



② 古本の引取り時の費用

古本の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 46.5% (20 件)、次いで「無料引取」が 14.0% (6 件) と続く。「買取」は 0.0%である。

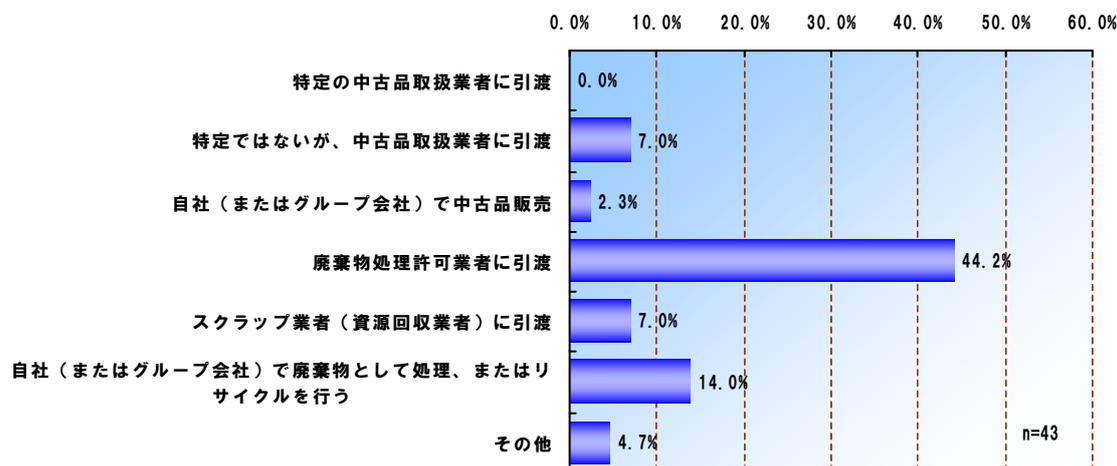
図表 44 古本の引取り時の費用



③ 古本の引取り後の処理

古本の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 44.2% (19 件)、次いで「自社 (またはグループ会社) で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 14.0% (6 件)、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」と「スクラップ業者 (資源回収業者) に引渡」が同数で 7.0% (3 件) と続く。

図表 45 古本の引取り後の処理

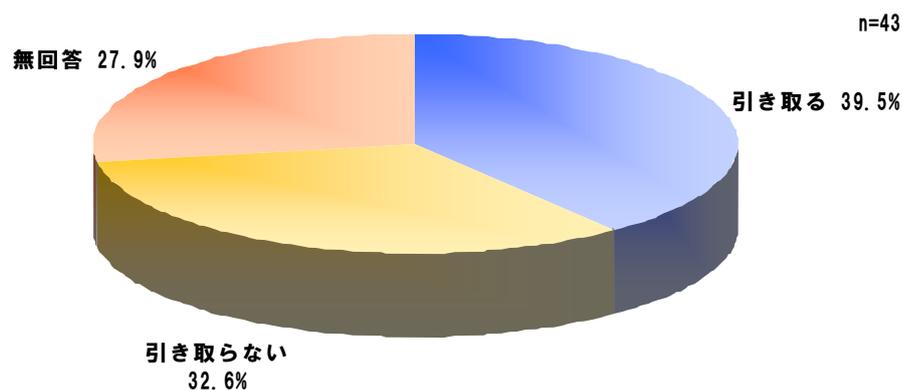


9) カー用品

① カー用品の引取りの可否

カー用品の引取りの可否について、「引き取る」が 39.5% (17 件)、「引き取らない」が 32.6% (14 件) であり、差は 3 件だけである。

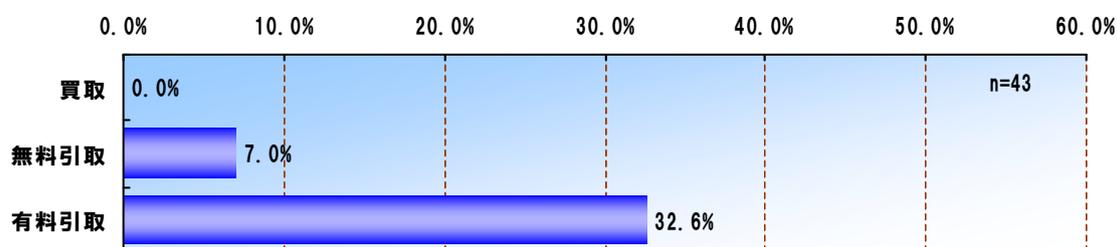
図表 46 カー用品の引取りの可否



② カー用品の引取り時の費用

カー用品の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 32.6%（14 件）、次いで「無料引取」が 7.0%（3 件）と続く。「買取」は 0.0%である。

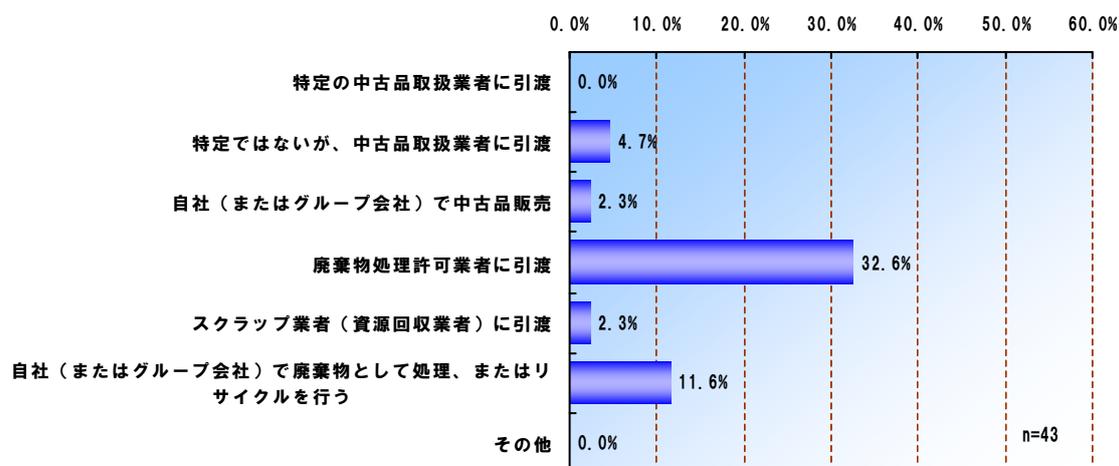
図表 47 カー用品の引取り時の費用



③ カー用品の引取り後の処理

カー用品の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 32.6%（14 件）、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 11.6%（5 件）、「特定ではないが、中古品取扱業者に引渡」4.7%（2 件）と続く。

図表 48 カー用品の引取り後の処理

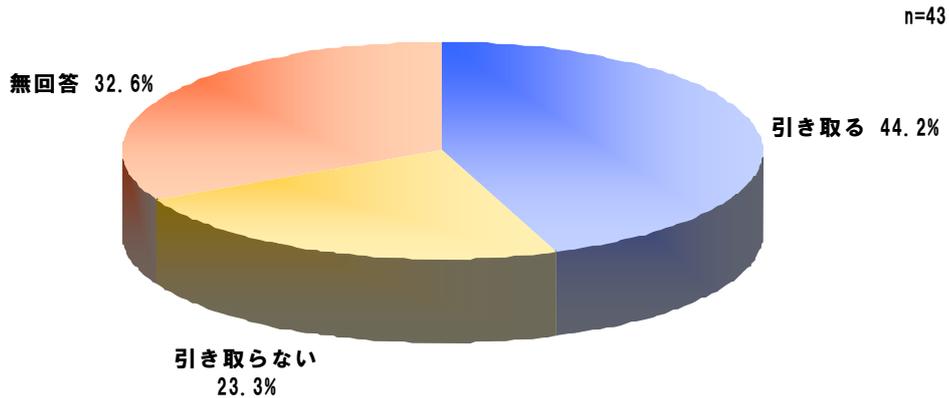


10) その他

① その他の引取りの可否

その他の引取りの可否について、「引き取る」が 44.2%（19 件）であり、「引き取らない」が 23.3%（10 件）である。

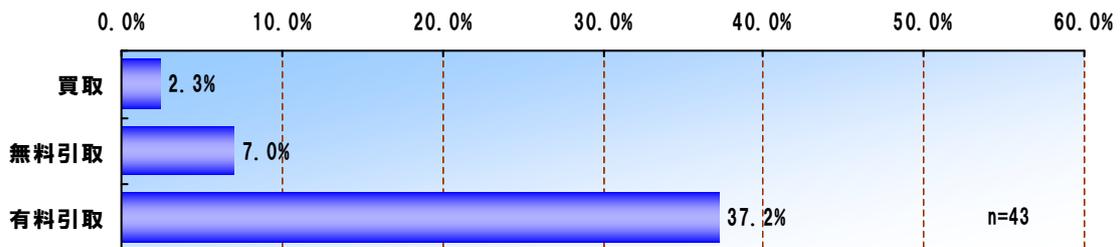
図表 49 その他の引取りの可否



② その他の引取り時の費用

その他の引取り時の費用について、「有料引取」が最も多く 37.2%（16 件）、次いで「無料引取」が 7.0%（3 件）、「買取」 2.3%（1 件）と続く。

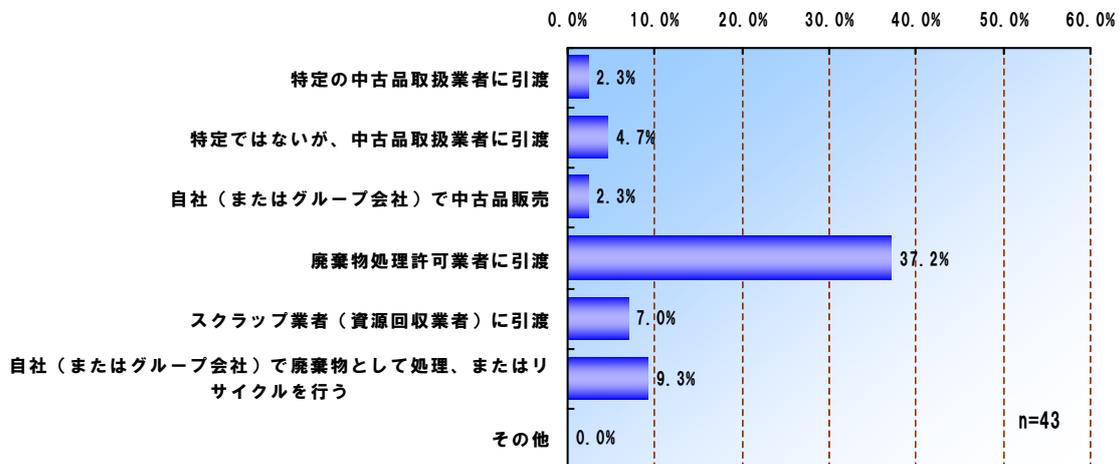
図表 50 その他の引取り時の費用



③ その他の引取り後の処理

その他の引取り後の処理について、「廃棄物処理許可業者に引渡」が最も多く 37.2%（16 件）、次いで「自社（またはグループ会社）で廃棄物として処理、またはリサイクルを行う」が 9.3%（4 件）、「スクラップ業者（資源回収業者）に引渡」 7.0%（3 件）と続く。

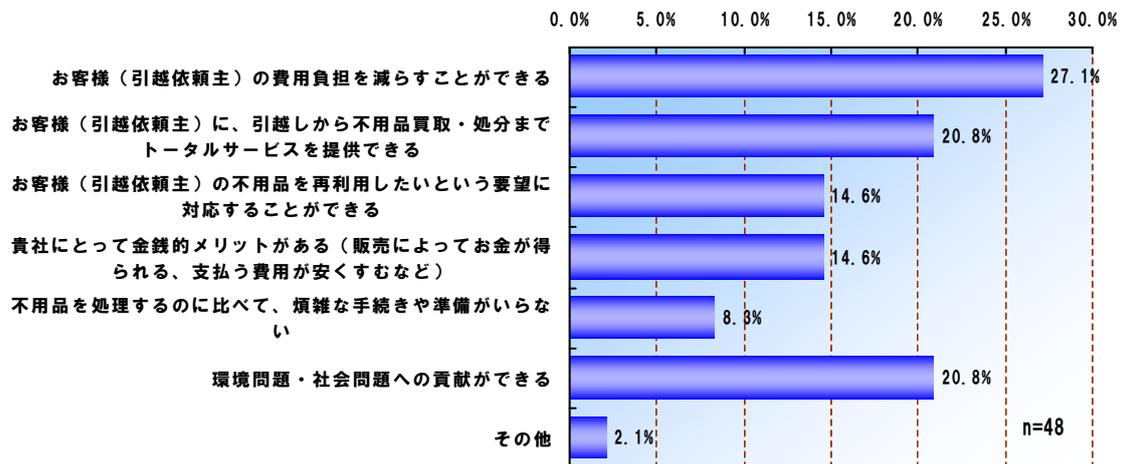
図表 51 その他の引取り後の処理



(4) 引き取った不用品を、中古品として再利用する理由・メリットについて

引き取った不用品を、中古品として再利用する理由・メリットについて、「お客様（引越依頼主）の費用負担を減らすことができる」が最も多く 27.1%（13 件）、次いで「お客様（引越依頼主）に、引越しから不用品買取・処分までトータルサービスを提供できる」と「環境問題・社会問題への貢献ができる」が 20.8%（10 件）と続く。

図表 52 引き取った不用品を、中古品として再利用する理由・メリットについて

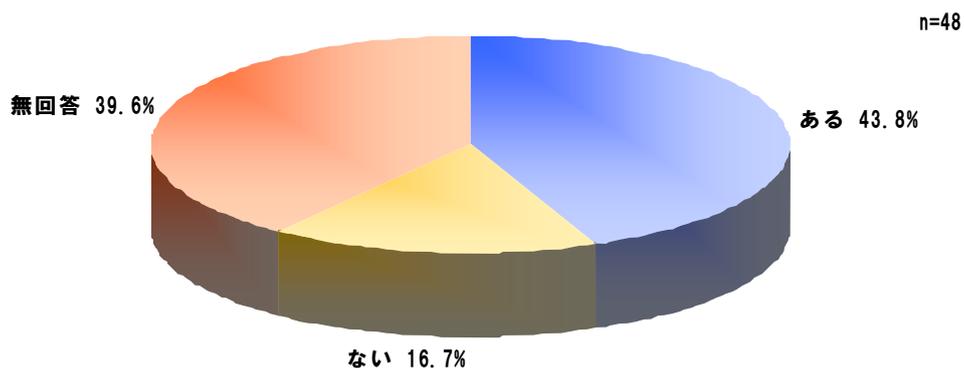


(5) 引き取った不用品で中古品として利用できるものの有無

1) 全体

引き取った不用品全体で中古品として利用できるものの有無について、「ある」が 43.8%（21 件）、「ない」が 16.7%（8 件）である。

図表 53 全体（中古品として利用できるものの有無）

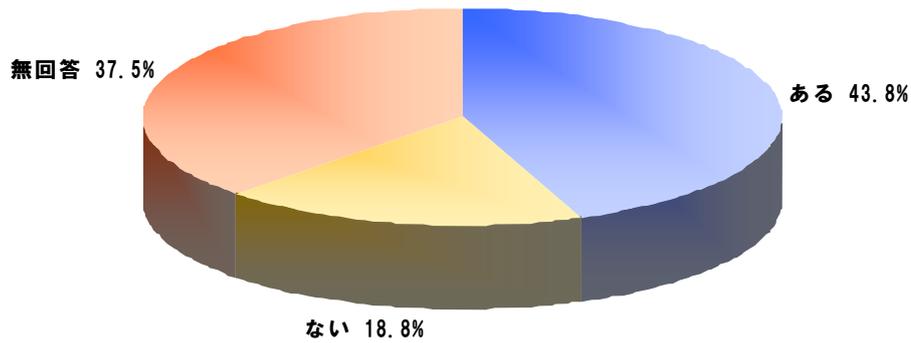


2) 引き取った家電で中古品として利用できるものの有無

引き取った家電で中古品として利用できるものの有無について、「ある」が 43.8%（21 件）、「ない」が 18.8%（9 件）である。

図表 54 家電（中古品として利用できるものの有無）

n=48

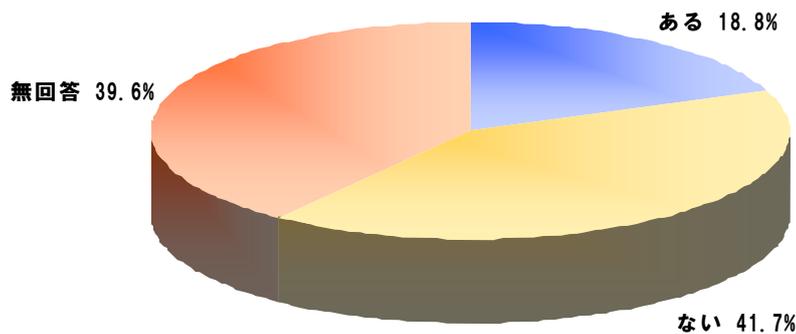


3) 引き取ったパソコン・周辺機器で中古品として利用できるものの有無

引き取ったパソコン・周辺機器で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が41.7%（20件）、「ある」が18.8%（9件）である。

図表 55 パソコン・周辺機器（中古品として利用できるものの有無）

n=48

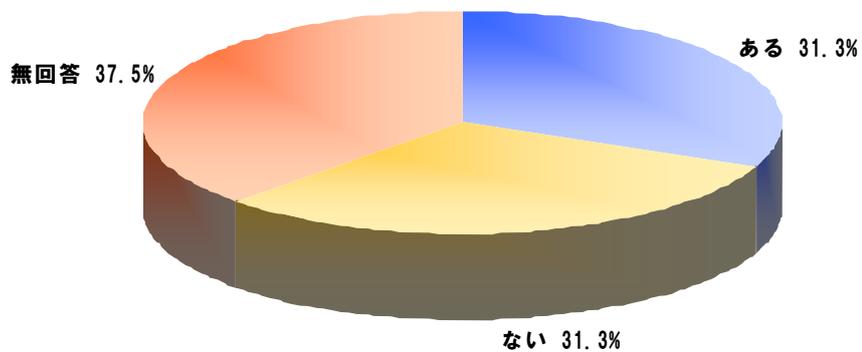


4) 引き取ったその他の電化製品で中古品として利用できるものの有無

引き取ったその他の電化製品で中古品として利用できるものの有無について、「ある」と「ない」が31.3%（15件）で同数である。

図表 56 その他の電化製品（中古品として利用できるものの有無）

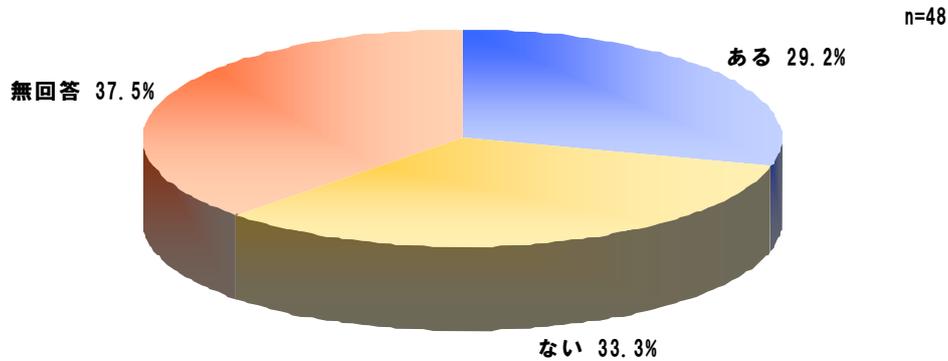
n=48



5) 引き取った衣類で中古品として利用できるものの有無

引き取った衣類で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が33.3% (16件)、「ある」が29.2% (14件)である。

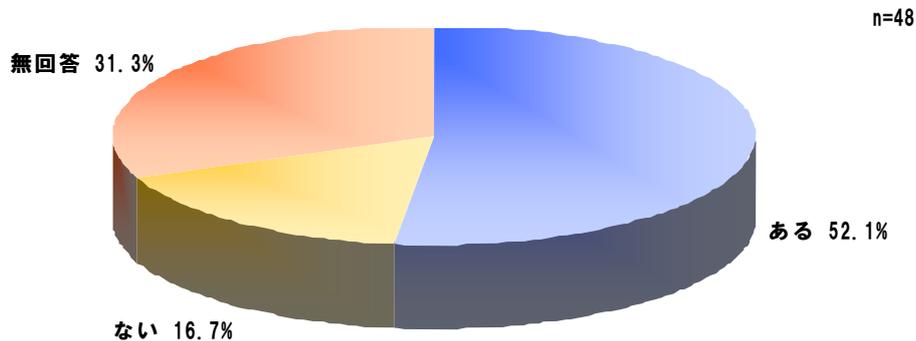
図表 57 衣類 (中古品として利用できるものの有無)



6) 引き取った家具類で中古品として利用できるものの有無

引き取った家具類で中古品として利用できるものの有無について、「ある」が52.1% (25件)で過半数を占める。

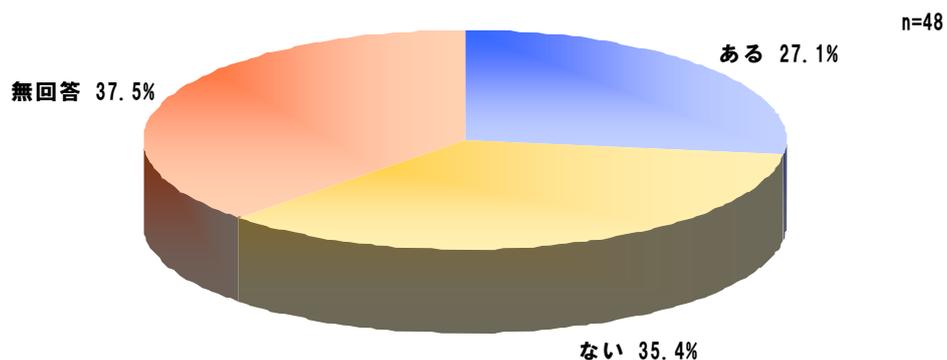
図表 58 家具類 (中古品として利用できるものの有無)



7) 引き取った生活雑貨で中古品として利用できるものの有無

引き取った生活雑貨で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が35.4% (17件)、「ある」が27.1% (13件)である。

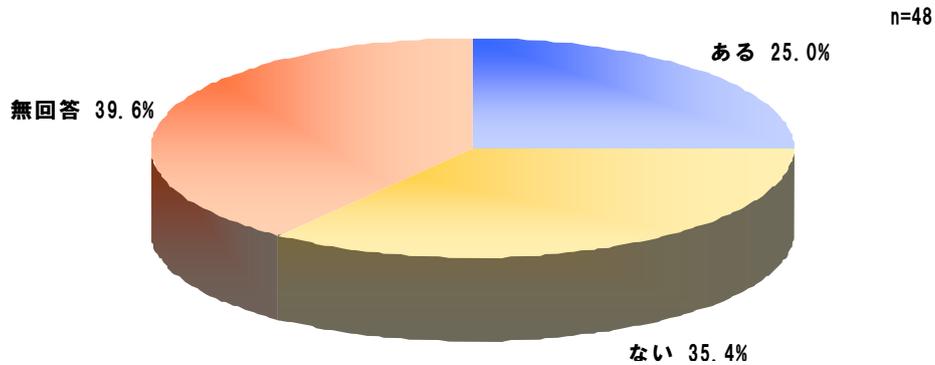
図表 59 生活雑貨 (中古品として利用できるものの有無)



8) 引き取ったスポーツ用品で中古品として利用できるものの有無

引き取ったスポーツ用品で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が 35.4% (17 件)、「ある」が 25.0% (12 件) である。

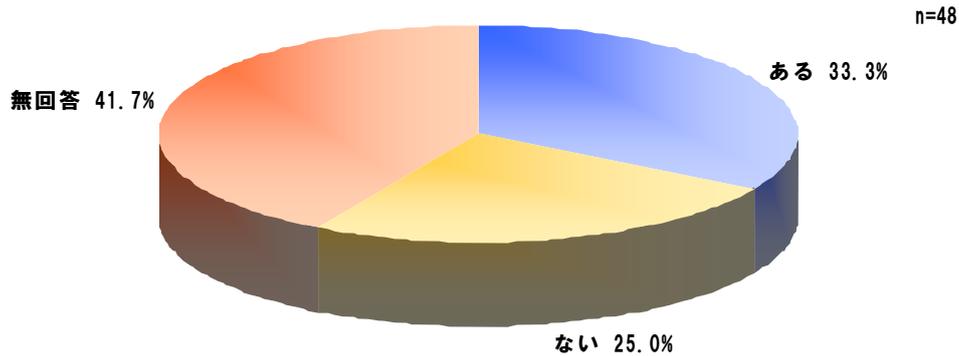
図表 60 スポーツ用品 (中古品として利用できるものの有無)



9) 引き取った古本で中古品として利用できるものの有無

引き取った古本で中古品として利用できるものの有無について、「ある」が 33.3% (16 件)、「ない」が 25.0% (12 件) である。

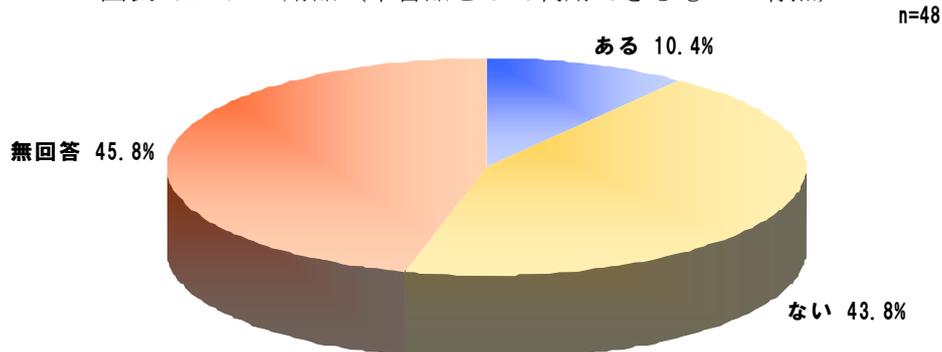
図表 61 古本 (中古品として利用できるものの有無)



10) 引き取ったカー用品で中古品として利用できるものの有無

引き取ったカー用品で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が 43.8% (21 件)、「ある」が 10.4% (5 件) である。

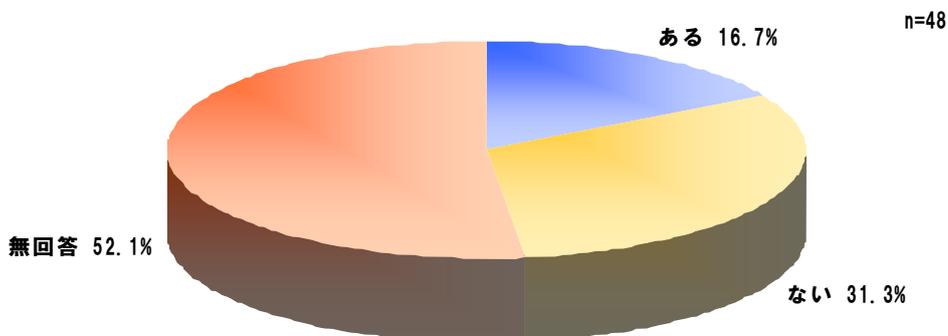
図表 62 カー用品 (中古品として利用できるものの有無)



11) 引き取ったその他品目で中古品として利用できるものの有無

引き取ったその他品目で中古品として利用できるものの有無について、「ない」が 31.3% (15 件)、「ある」が 16.7% (8 件) である。

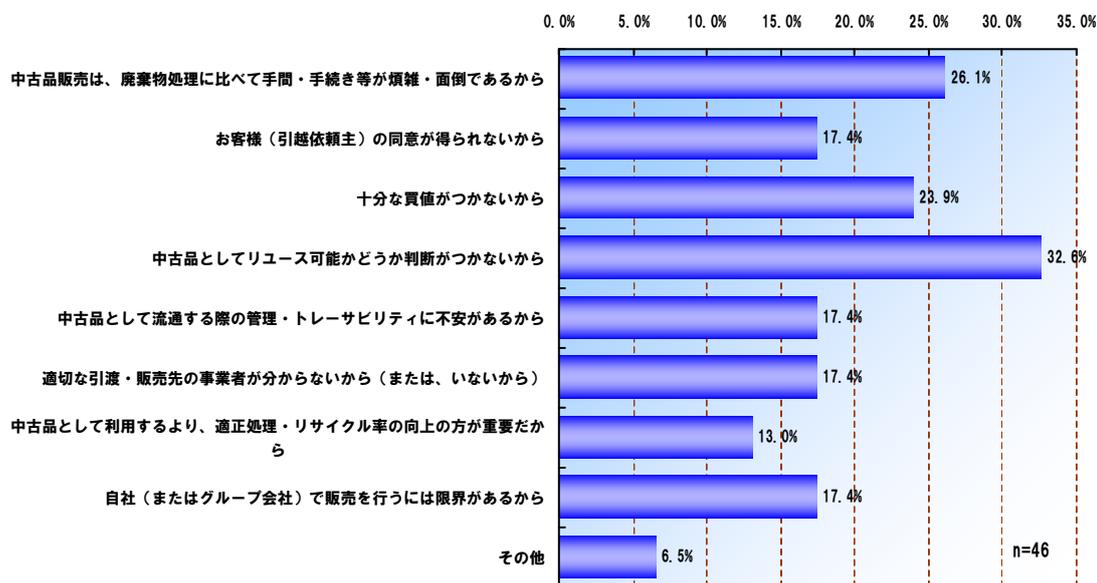
図表 63 その他品目（中古品として利用できるものの有無）



(6) 中古品として流通していない理由について

中古品として流通していない理由（複数回答可）について、「中古品としてリユース可能かどうか判断がつかないから」が最も多く 32.6% (15 件)、次いで「中古品販売は、廃棄物処理に比べて手間・手続き等が煩雑・面倒であるから」が 26.1% (12 件)、「十分な買値がつかないから」が 23.9% (11 件) と続く。

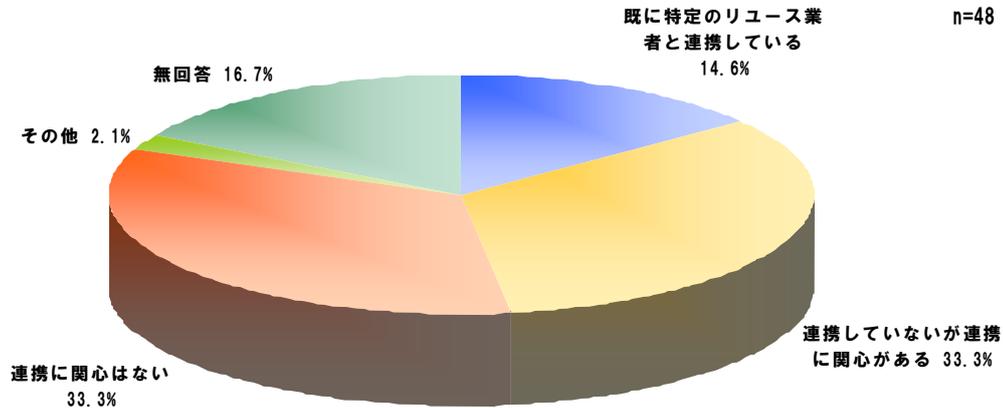
図表 64 中古品として流通していない理由について



(7) 特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について

特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について、「連携していないが連携に関心がある」と「連携に関心はない」が同数で33.3%（16件）、次いで「既に特定のリユース業者と連携している」が14.6%（7件）となっている。

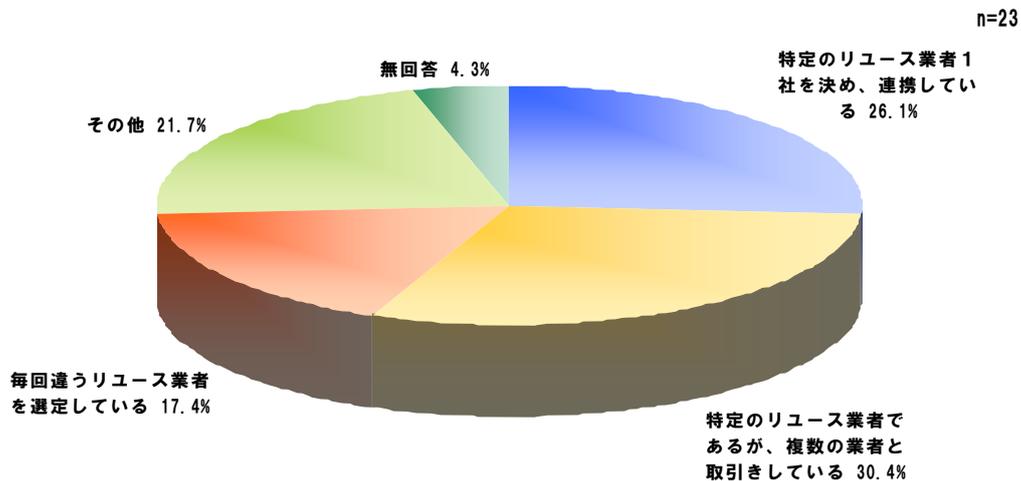
図表 65 特定のリユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について



(8) リユース業者との連携の方法について

リユース業者との連携の方法について、「特定のリユース業者であるが、複数の業者と取引している」が30.4%（7件）、次いで「特定のリユース業者1社を決め、連携している」が26.1%（6件）、「その他」が21.7%（5件）となっている。

図表 66 リユース業者との連携の方法について

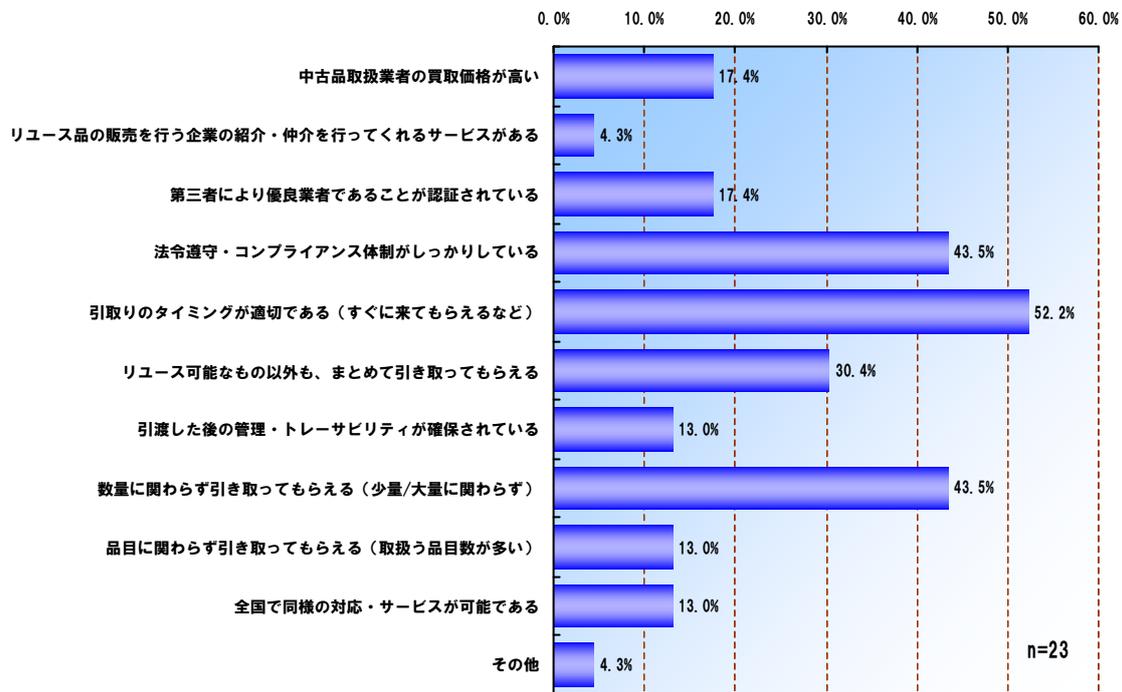


(9) リユース業者の選定の対応・条件について

リユース業者の選定の対応・条件（複数回答可）について、「引取りのタイミングが適切である（すぐに来てもらえるなど）」が最も多く52.2%（12件）、次いで「法令遵守・コンプライアンス体制がしっかりしている」と「数量に関わらず引き取ってもらえる（少量/大量に関

わらず)」とが同数で43.5%（10件）、「リユース可能なもの以外も、まとめて引き取ってもらえる」が30.4%（7件）と続く。

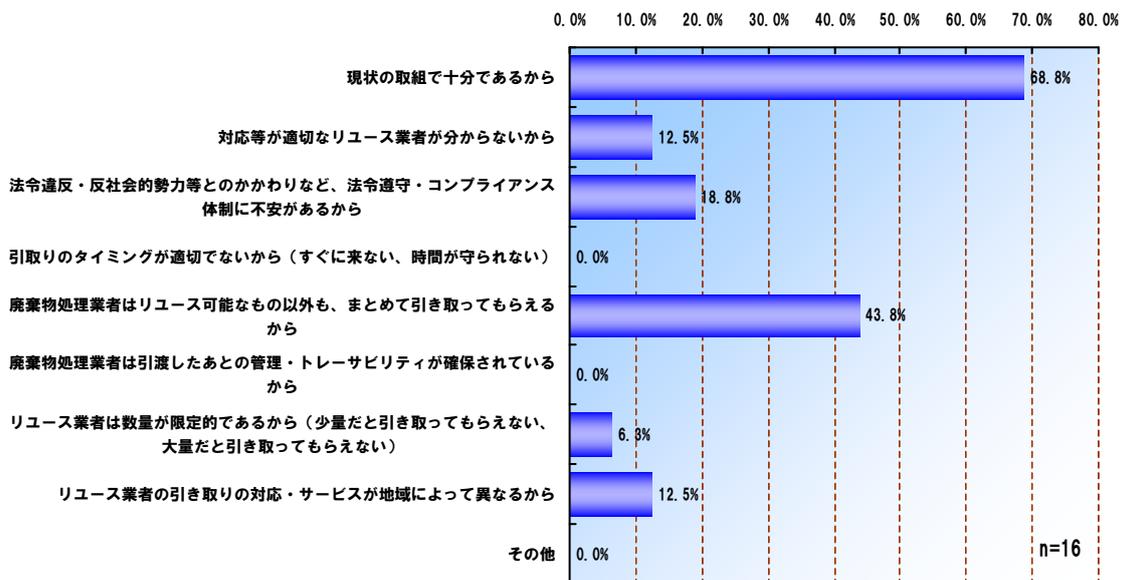
図表 67 リユース業者の選定の対応・条件について



(10) 連携に関心がない理由について

連携に関心がない理由（複数回答可）について、「現状の取組で十分であるから」が最も多く68.8%（11件）、次いで「廃棄物処理業者はリユース可能なもの以外も、まとめて引き取ってもらえるから」が43.8%（7件）、「法令違反・反社会的勢力等とのかかわりなど、法令遵守・コンプライアンス体制に不安があるから」が18.8%（3件）と続く。

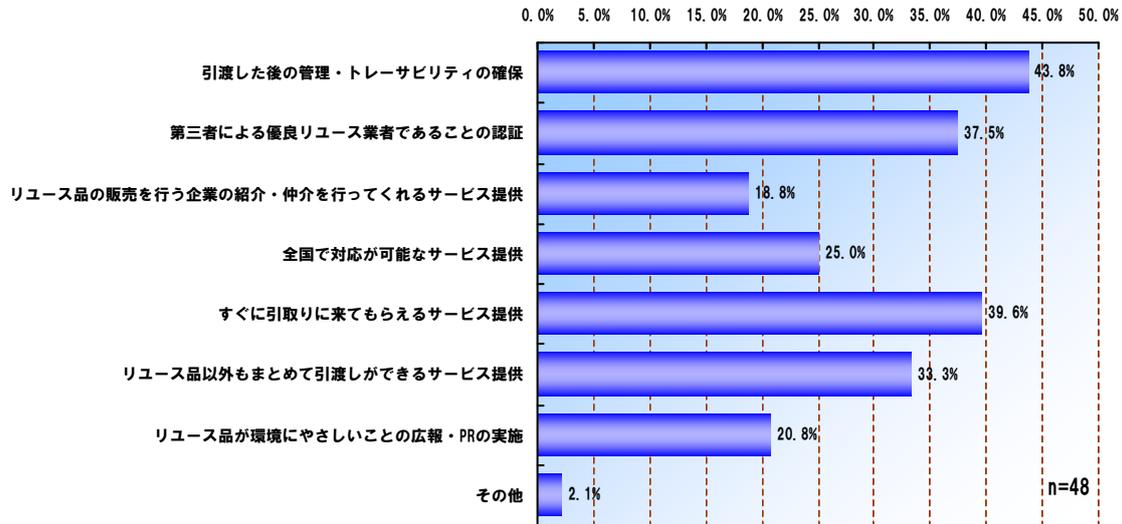
図表 68 連携に関心がない理由について



(11) 推進して欲しいと思う取組について

推進して欲しいと思う取組（複数回答可）について、「引渡した後の管理・トレーサビリティの確保」が最も多く 43.8%（21 件）、次いで「すぐに引取りに来てもらえるサービス提供」が 39.6%（19 件）、「第三者による優良リユース業者であることの認証」が 37.5%（18 件）と続く。

図表 69 推進して欲しいと思う取組について



(12) リユース業界に対する意見・要望など（自由回答）

<買取について>

- ・お金にならない（値のつかない）物は、引き取らないリユース業者が多く、手間だけ掛かってしまい、お客様のニーズにあっていないことが多い。
- ・リユース業者は多いが、製品価値をすごく破格にて引取りされ、お客様より苦情が出る事が多い。また、本当に価値が有り、すぐ売れる物は引取るが、何か有れば「この品物は処分料を頂きます」との申し出が多い。
- ・買い取り基準の明瞭性が必要。

<スペースについて>

- ・持ち込んだ時に十分な駐車スペースがあれば良い。

<指針・制度について>

- ・どんな物がリユース出来るのか、家電年式等の具体的な指針があれば判断しやすい。
- ・広く一般の人達にリユースという知識を覚えてもらい、活用してもらうためのルール作りを行ってほしい。

<その他（不用品回収業者について）>

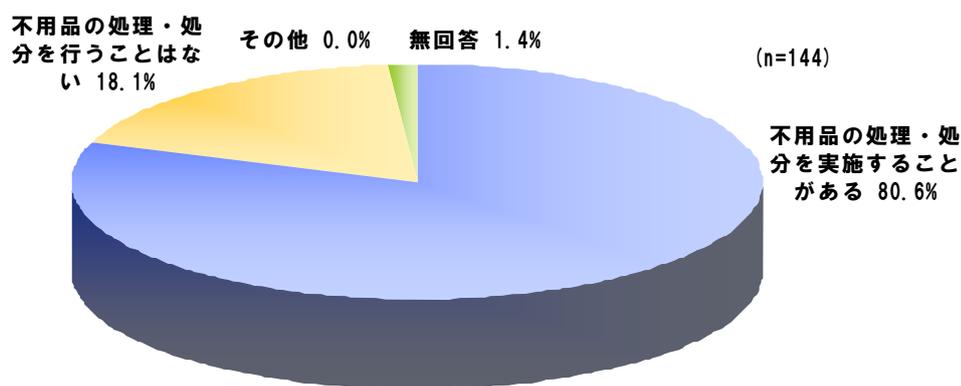
- ・私共は、廃棄物収集書運搬の許可を受け2年に1回の更新手続き、又月1回の報告書等を行っている。なぜか、無許可での業者がたくさん町中で回収（一部有料で）している状況です。行政としての取り組みはないのでしょうか。

2.3 ビル・賃貸マンション等の管理業

(1) 不用品の処理・処分の有無について

不用品の処理・処分の有無について、「不用品の処理・処分を実施することがある」との回答が80.6%（116件）と8割以上を占めている。

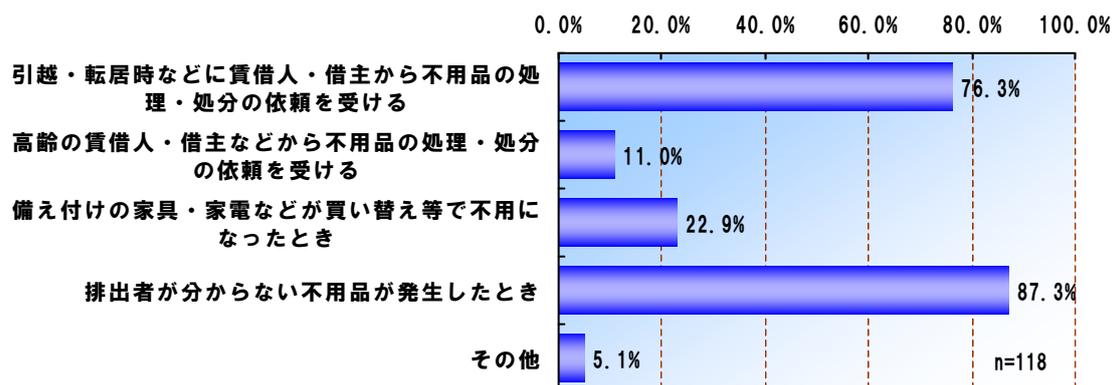
図表 70 不用品の処理・処分の有無について



(2) 不用品の処理・処分を行う場合について

不用品の処理・処分を行う場合（複数回答可）について、「排出者が分からない不用品が発生したとき（捨てた人が分からない粗大ごみなど）」との回答が最も多く87.3%（103件）、次いで「引越・転居時などに賃借人・借主から不用品の処理・処分の依頼を受ける」との回答が76.3%（90件）、「備え付けの家具・家電などが買い替え等で不用になったとき」との回答が22.9%（27件）と続く。

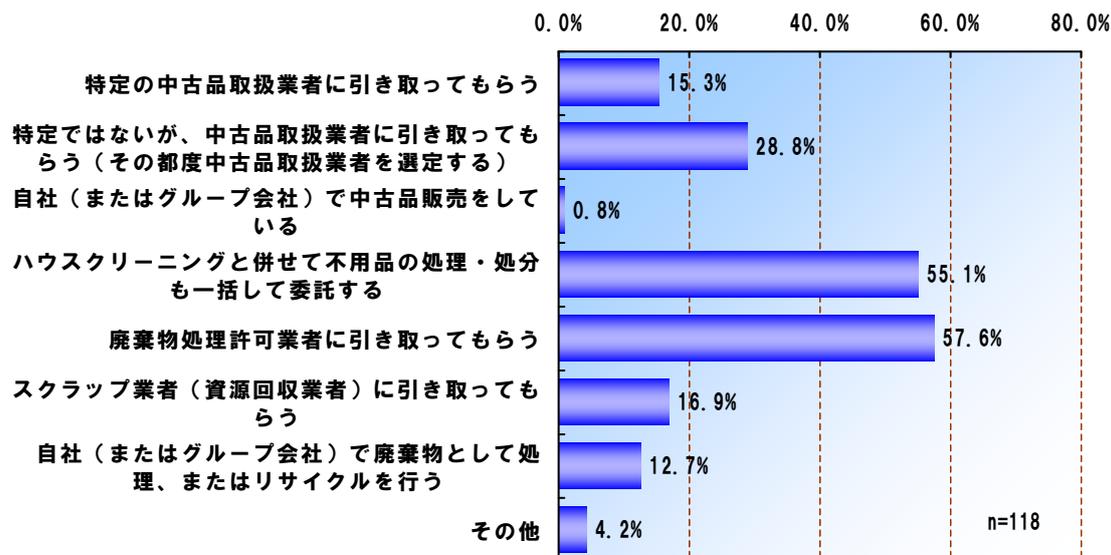
図表 71 不用品の処理・処分を行う場合について



(3) 不用品の処理・処分の方法について

不用品の処理・処分の方法（複数回答可）について、「廃棄物処理許可業者に引き取ってもらう」との回答が最も多く 57.6%（68 件）、次いで「ハウスクリーニングと併せて不用品の処理・処分も一括して委託する」との回答が 55.1%（65 件）、「特定ではないが、中古品取扱業者に引き取ってもらう（その都度中古品取扱業者を選定する）」との回答が 28.8%（34 件）と続く。

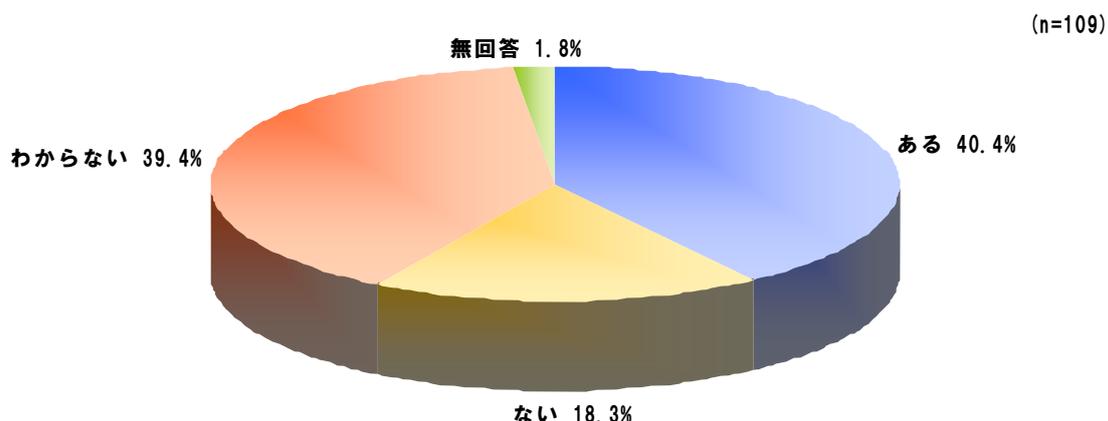
図表 72 不用品の処理・処分の方法について



(4) 中古品として利用できるものの有無について

中古品として利用できるものの有無について、「ある」との回答が最も多く 40.4%（44 件）、次いで「わからない」との回答が 39.4%（43 件）、「ない」との回答が 18.3%（20 件）と続く。

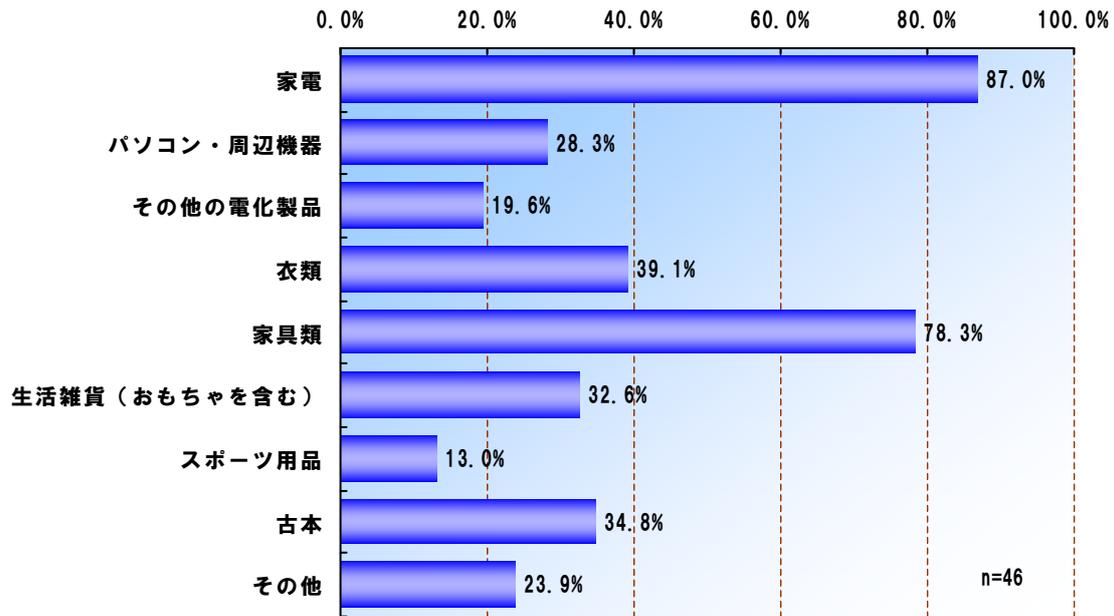
図表 73 中古品として利用できるものの有無について



(5) 引き取ったことがある品目について

引き取ったことがある品目（複数回答可）について、「家電」との回答が最も多く 87.0%（40 件）、次いで「家具類」との回答が 78.3%（36 件）、「衣類」との回答が 39.1%（18 件）と続く。

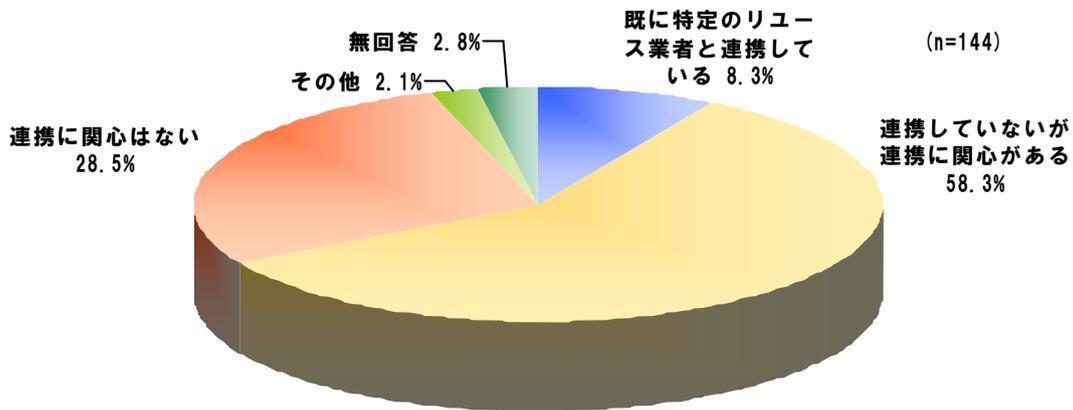
図表 74 引き取ったことがある品目



(6) リユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について

リユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について、「連携していないが連携に関心がある」との回答が最も多く 58.3% (84 件)、次いで「連携に関心はない」との回答が 28.5% (41 件)、「既に特定のリユース業者と連携している」との回答が 8.3% (12 件) と続く。

図表 75 リユース業者と連携して中古品リユースを進める取組について

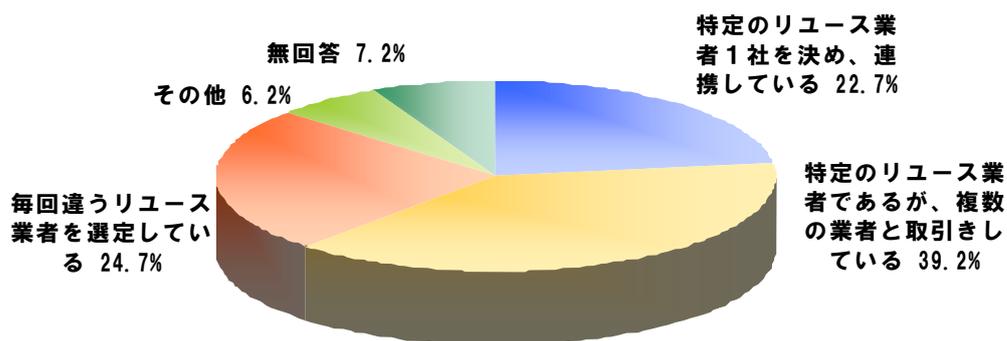


(7) リユース業者との連携の方法について

リユース業者との連携の方法について、「特定のリユース業者であるが、複数の業者と取引している」との回答が最も多く 39.2% (38 件)、次いで「毎回違うリユース業者を選定している」との回答が 24.7% (24 件)、「特定のリユース業者 1 社を決め、連携している」との回答が 22.7% (22 件) と続く。

図表 76 リユース業者との連携の方法について

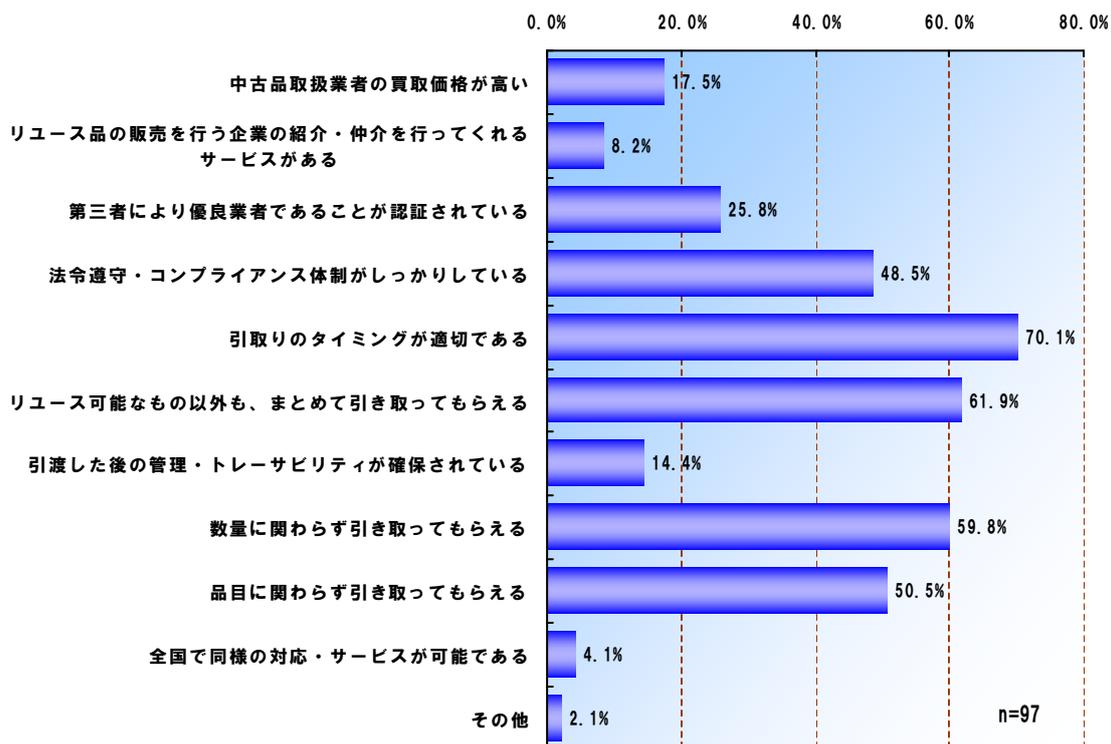
(n=97)



(8) リユース業者の選定の対応・条件について

リユース業者の選定の対応・条件（複数回答可）について、「引取りのタイミングが適切である」との回答が最も多く 70.1%（68 件）、次いで「リユース可能なもの以外も、まとめて引き取ってもらえる」との回答が 61.9%（60 件）、「数量に関わらず引き取ってもらえる」との回答が 59.8%（58 件）と続く。

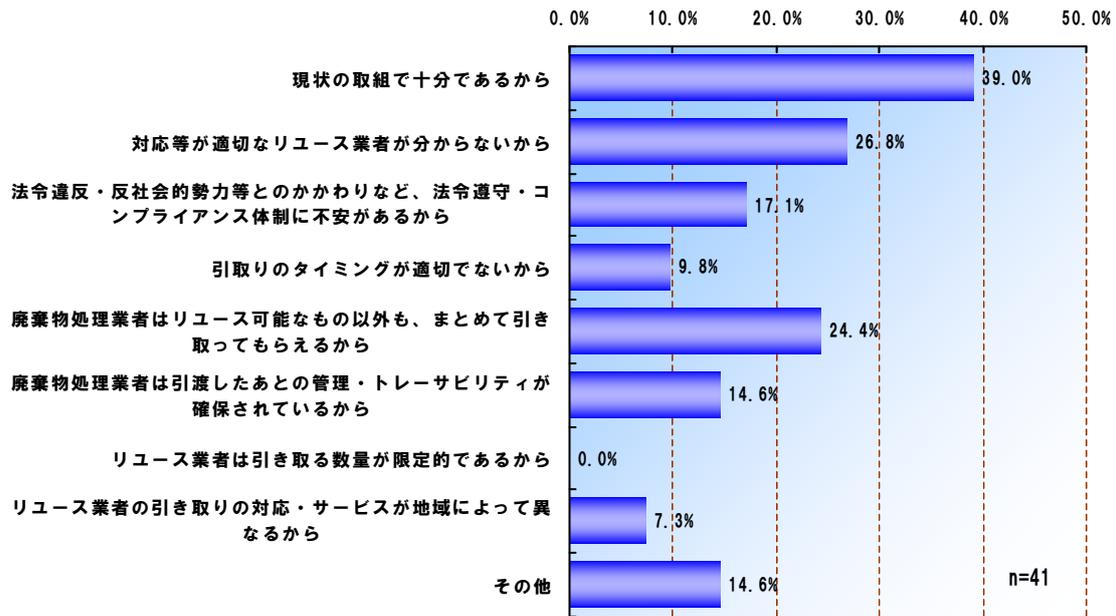
図表 77 リユース業者の選定の対応・条件について



(9) 連携に関心がない理由について

連携に関心がない理由（複数回答可）について、「現状の取組で十分であるから」との回答が最も多く 39.0%（16 件）、次いで「対応等が適切なリユース業者が分からないから」との回答が 26.8%（11 件）、「廃棄物処理業者はリユース可能なもの以外も、まとめて引き取ってもらえるから」との回答が 24.4%（10 件）と続く。

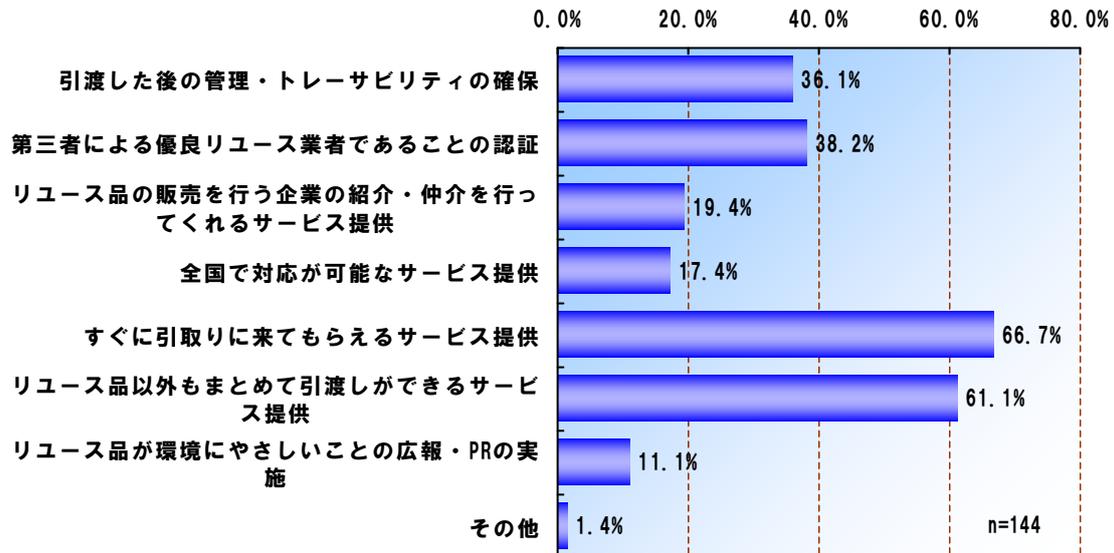
図表 78 連携に関心がない理由について



(10) リユース業界に推進して欲しいと思う取組について

リユース業界に推進して欲しいと思う取組（複数回答可）について、「すぐに引取りに来てもらえるサービス提供」との回答が最も多く 66.7%（96 件）、次いで「リユース品以外もまとめて引渡しができるサービス提供」との回答が 61.1%（88 件）、「第三者による優良リユース業者であることの認証」との回答が 38.2%（55 件）と続く。

図表 79 リユース業界に推進して欲しいと思う取組について



(11) リユース業界に対する意見・要望など（自由回答）

<中古品取扱業者についての意見>

- ・あまり信用できない人が多い様な気がします。対外的にも認められるように身なり、言葉使い等の初歩的なものからきちんとして欲しい。
- ・悪質業者の締め出しを強化して頂きたい。
- ・考えそのものは大変良い事だと思いますが、一括で処分していただける様な業者が欲しい、又、育てて欲しいと思っております。
- ・買い取られた額に対し、適切な価格(法外な設定をせず)で消費者に渡してほしい。

<消費者についての意見>

- ・粗大ゴミが年々増えてきて頭を悩ませています。特に不法投棄。修理するより買い換えた方が安価なのが問題では。物を大切に作る心が日々うすれてきている。
- ・ゴミ置場にテレビ冷蔵庫等、大型家電をだまって置いてゆく。費用がかかります。市では引きとってくれません。困っています。
- ・入居者向けの不用品買取サービスのチラシ等があれば、契約締結時に渡せるので、もれなく周知をすることが出来るので、助かると思う。
- ・現在、物が飽和状態にあり、不用品が多数出て来ている。その中で、3R（リデュース・リユース・リサイクル）は、昔から叫ばれて来ている、日本の社会全体が、その方向に動いて行ければ、日本も良くなるのではないかと。
- ・リユースしたい人への幅広い情報提供が必要。

<国・地方自治体についての意見>

- ・リユースの前に、家具、家電付の賃貸物件にした方が環境的には良いと考えられる。現状ではリユースも課題ではあるが、家具・家電付にすれば、ほぼ問題はリサイクルの部分になるのではないかと。但し、コスト面(維持管理面を含む)が課題として残る。補助金等も一手ではあるが、根本的には賃料の設定等の問題、特に消費者契約法による契約の自由度の制限が大きい。
- ・引渡者、引取者の両方に、より良い仕組みをつくり、地方公共団体と連携して取りくんで欲しい。

<その他>

- ・不法投棄等もなくなるように、期待しています。

(以上)